

千葉県地方創生に係るアンケート

報告書

平成29年9月

千葉県

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査の項目	2
4. この報告書の見方	2
5. 回答者の属性	2
II 調査結果の要約	8
III 調査結果の詳細	12
1. 進路に関する希望について	
(1) 高校卒業後の進路に関する現在の希望	12
(2) 第一志望の学校の所在地	13
2. 将来の就職に関する希望について	
(1) 就職を希望している職種	14
(2) 希望する勤務地	18
(3) 県内に勤務を希望する理由	22
(4) 県内での勤務を希望しない理由	24
3. 将来の居住地の希望について	
(1) 就職後の居住地の希望	26
(2) 県内で希望する居住地	28
(3) 千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由	30
(4) 県外で希望する居住地	32
(5) 千葉県を居住地に選ばない理由	33
4. 「居住地として選ばれる千葉」について	
(1) 千葉県が居住地として選ばれるために重要なこと	37
(2) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと	41
5. 結婚・子育てなどについて	
(1) 「晩婚」や「未婚」が増えている理由	45
(2) 子どもを持つために必要だと思う条件	49
6. 居住地域・出身地域別分析	
(1) 高校生の高校卒業後の進路に関する現在の希望	53
(2) 高校生の第一志望の学校の所在地	54
(3) 高校生の就職を希望している職種	55
(4) 高校生の将来希望する勤務地	56
(5) 高校生の就職後の居住地の希望	57
(6) 大学生・短期大学生の就職を希望している職種	58
(7) 大学生・短期大学生の将来希望する勤務地	59
(8) 大学生・短期大学生の就職後の居住地の希望	60

I 調査概要

1. 調査の目的

本県における地方創生の着実な実現のためには、特に若い世代に居住地として選ばれることが重要であり、魅力ある雇用の場を創出し、結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境の整備などを進めることが重要である。

そのため、今後の本県の各種施策をより効果的に実施していくため、県内の高等学校生や、短期大学生・大学生を対象として、意識調査（アンケート）を実施する。

2. 調査の設計

- (1) 調査対象 千葉県内の高校・大学・短期大学34校（下図表参照）の生徒
- (2) 調査方法 対象校の生徒に対してアンケート票の配布・回収
- (3) 調査期間 平成29年6月8日～7月7日
- (4) 回収状況 1,949人（高校生1,135人、大学生・短期大学生814人）

＜図表 アンケートを配布した学校名及び回収人数＞

種類	学校名	種別	学科	学区	学年	回収人数
県立高等学校	千葉	高等学校	普通科	1	2	39
	千葉商業	高等学校	商業科	1	2	40
	千葉南	高等学校	普通科	1	2	38
	船橋	高等学校	理数科	2	2	38
	市川工業	高等学校	工業科（建築）	2	2	36
	松戸国際	高等学校	普通科	2	2	30
	東葛飾	高等学校	普通科	3	2	36
	清水	高等学校	食品科学科	3	2	34
	鎌ヶ谷	高等学校	普通科	3	2	40
	佐倉	高等学校	普通科	4	2	40
	八街	高等学校	総合学科	4	2	35
	佐原	高等学校	普通科	5	2	36
	東総工業	高等学校	工業科（情報技術科）	5	2	40
	成東	高等学校	普通科	6	2	40
	東金商業	高等学校	情報処理科	6	2	40
	長生	高等学校	普通科	7	2	39
	一宮商業	高等学校	情報処理科	7	2	39
	安房	高等学校	普通科	8	2	42
	安房拓心	高等学校	総合学科	8	2	38
	木更津	高等学校	普通科	9	2	42
	君津商業	高等学校	商業科	9	2	36
県立高等学校（21校）					小計	798
私立高等学校	渋谷教育学園幕張	高等学校	普通科		2	38
	市川	高等学校	普通科（文系選抜）		2	34
	芝浦工業大学柏	高等学校	普通科（文系クラス）		2	40
	成田	高等学校	普通科		2	45
	敬愛大学八日市場	高等学校	普通科		2	30
	横芝敬愛	高等学校	普通科		2	38
	茂原北陵	高等学校	普通科		2	34
	千葉県安房西	高等学校	普通科		2	38
	東海大学付属市原望洋	高等学校	普通科		2	40
	私立高等学校（9校）					小計
短期大学・大学	千葉敬愛	短期大学	現代子ども学科		1・2	306
	城西国際	大学	総合経営学科、環境社会学部、看護学科		1～4	299
	千葉	大学				154
	千葉工業	大学	工学部・情報科学部・社会システム科学部		3・4	55
短期大学・大学（4校）					小計	814
					合計	1,949

3. 調査の項目

- (1) 進路に関する希望について（高校生のみ）
- (2) 将来の就職に関する希望について
- (3) 将来の居住地の希望について
- (4) 「居住地として選ばれる千葉」について
- (5) 結婚・子育てなどについて

4. この報告書の見方

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%にならず、1%の範囲で増減することがある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) クロス集計の図表では、分析軸となる質問に無回答だった人については掲載していない。そのため、各層のnの合計が総数とは一致しない場合がある。

5. 回答者の属性

(1) 性別

<図表 性別—高校生>



<図表 性別—大学生・短期大学生>



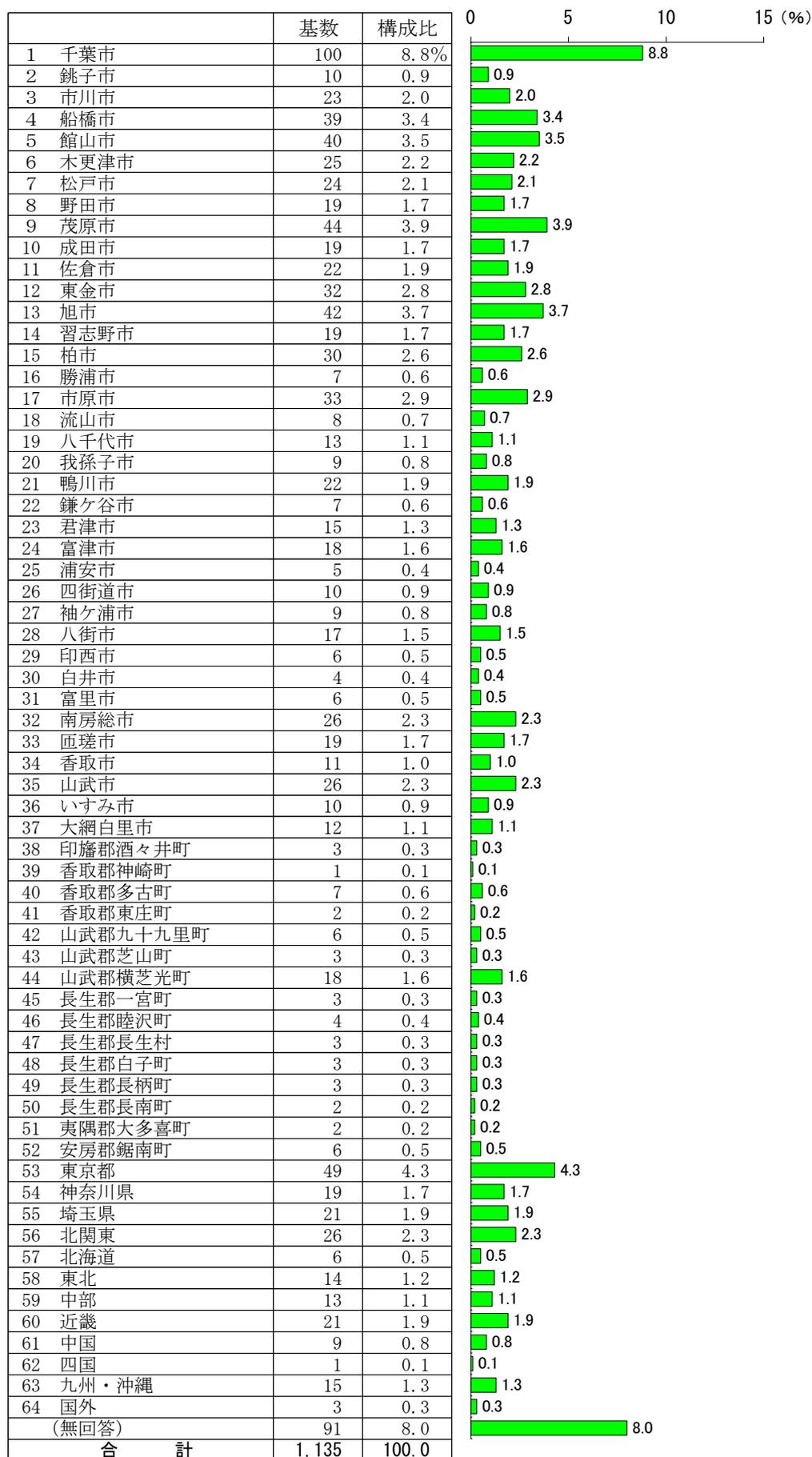
(2) 学科

<図表 学科—高校生>

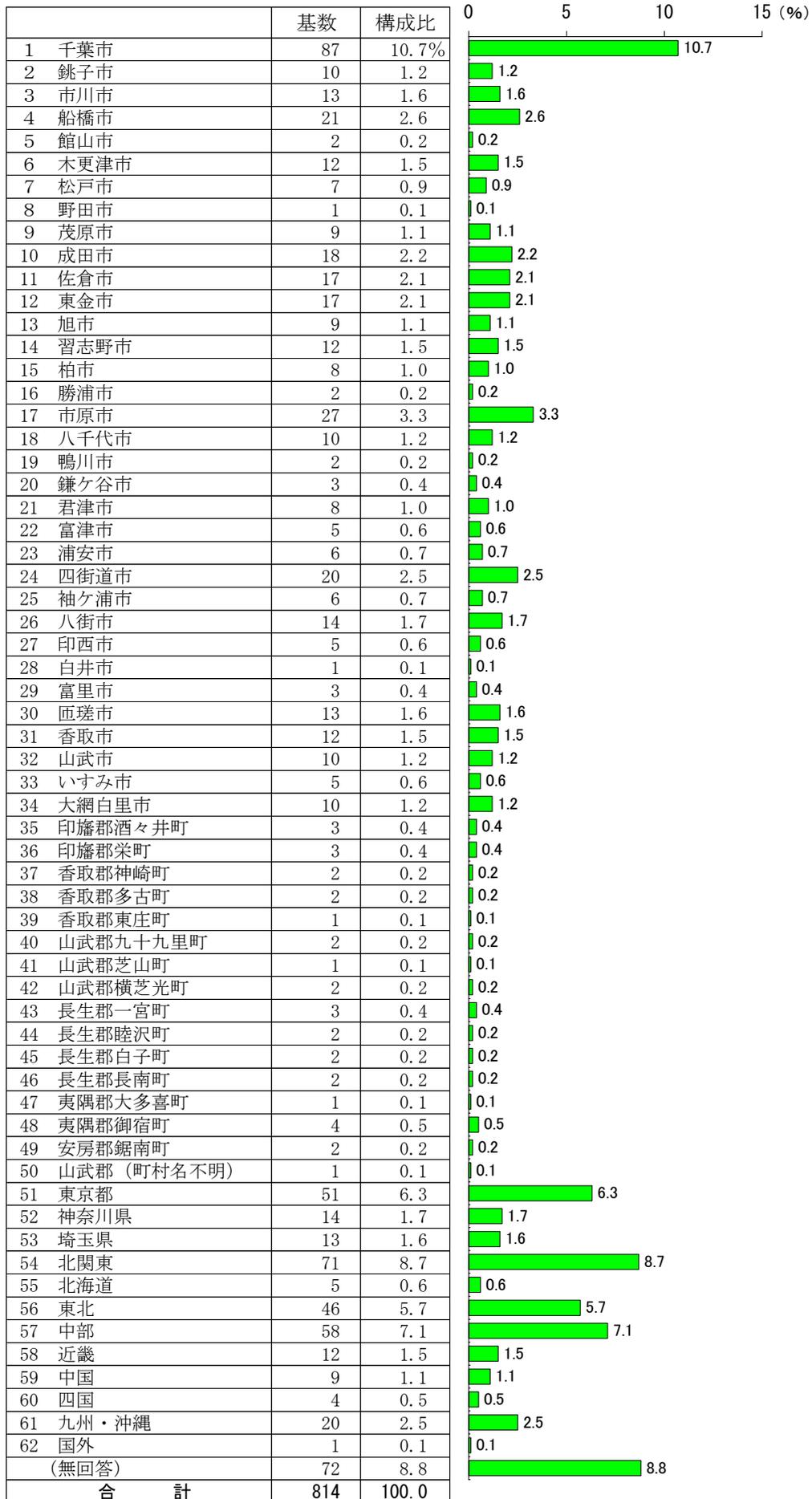


(3) 出身地

<図表 出身地—高校生>

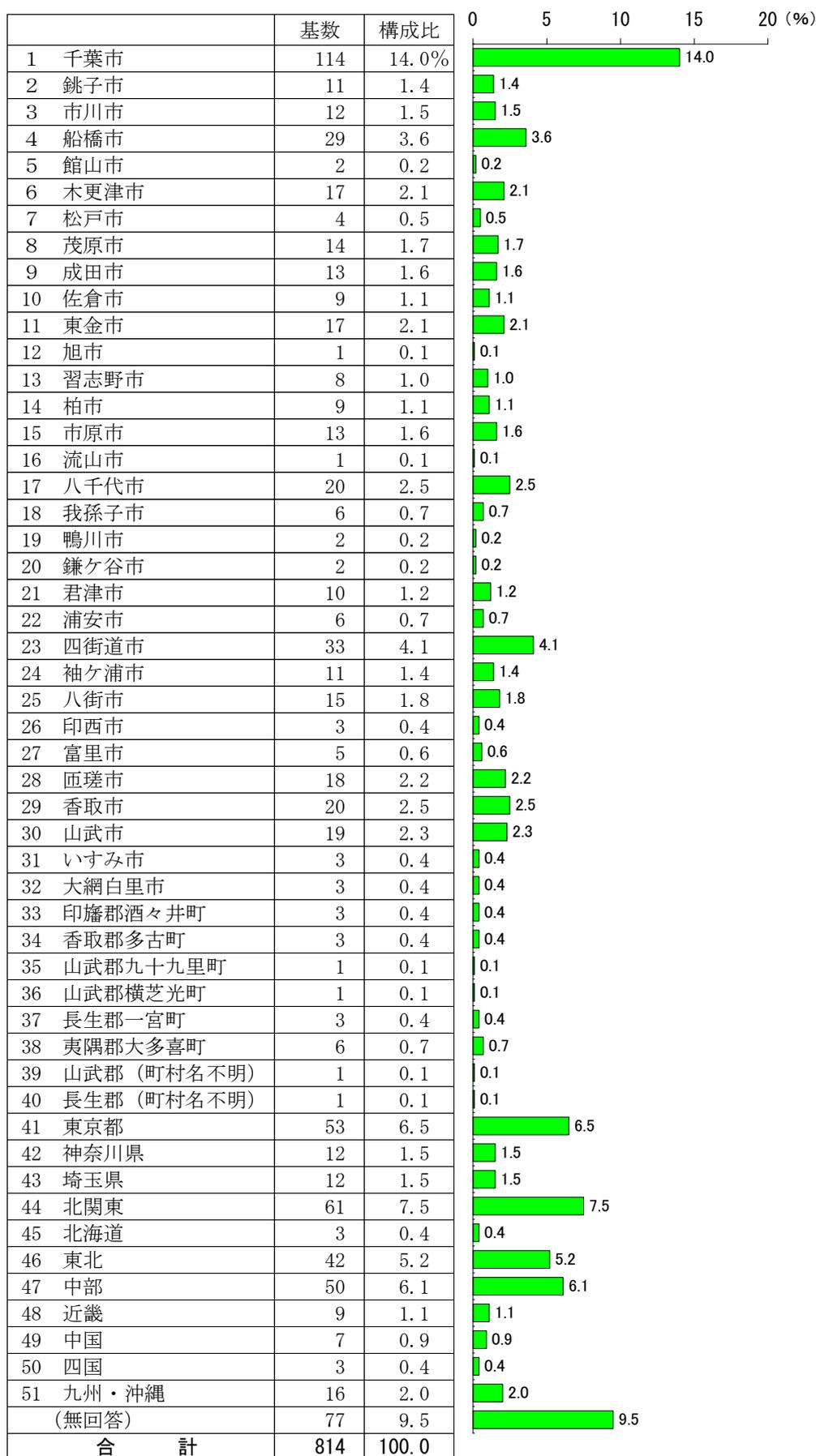


<図表 出身地—大学生・短期大学生>



(4) 出身高校所在地

<図表 出身高校所在地—大学生・短期大学生>

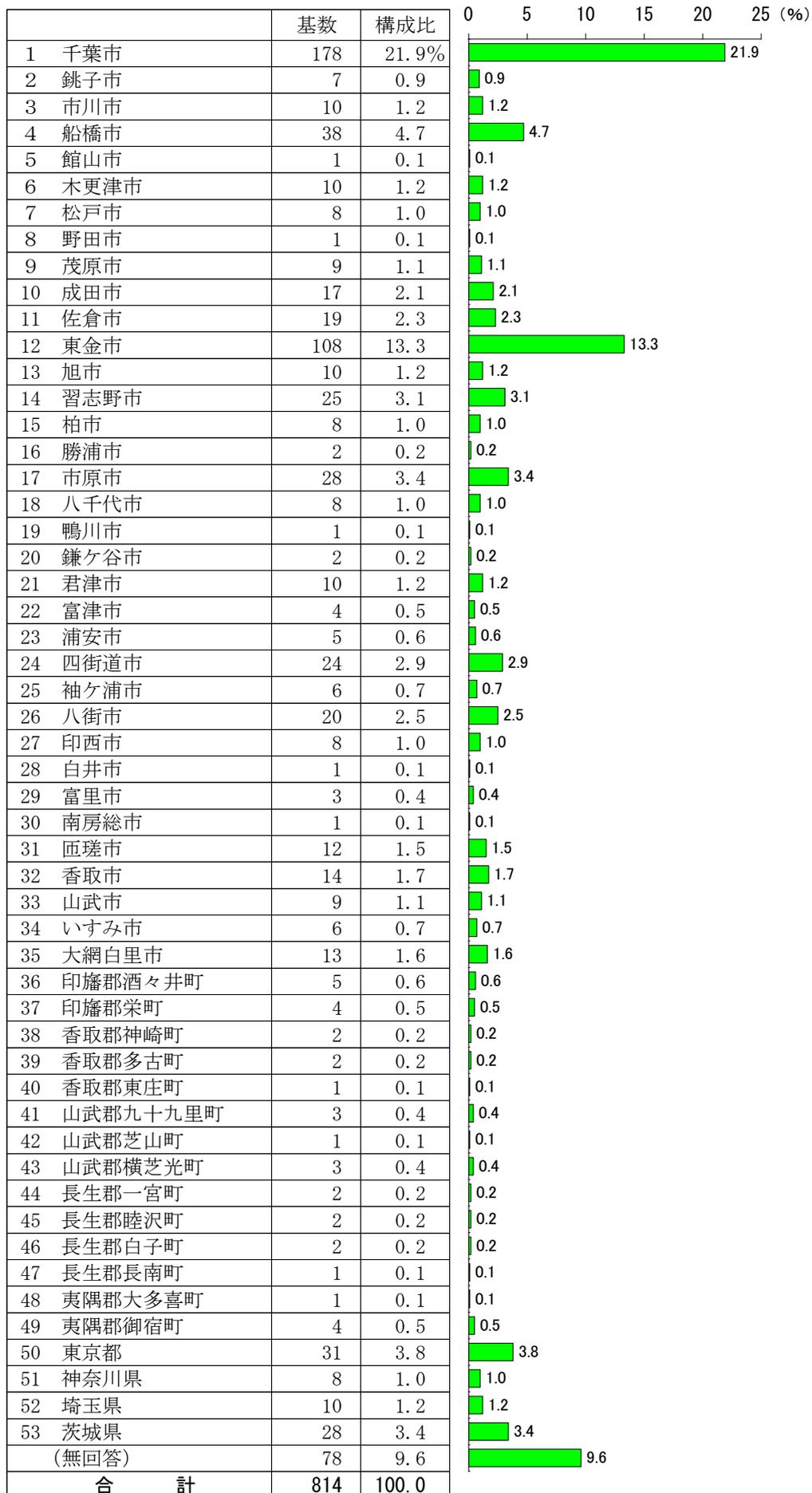


(5) 現在の居住地

<図表 現在の居住地—高校生>



<図表 現在の居住地—大学生・短期大学生>



Ⅱ 調査結果の要約

1. 進路に関する希望について

(1) 高校卒業後の進路に関する現在の希望

高校卒業後の進路は、「四年制大学に進学」が62.6%で最も高く、次いで「就職」が17.6%、「専門学校に進学」が9.3%、「短期大学に進学」が2.1%となっている。また、「決めていない」は6.4%となっている。

(2) 第一志望の学校の所在地

第一志望の学校の所在地は、「東京都(23区内)」が32.4%で最も高く、次いで「千葉県内」が30.4%となっている。また、「志望校が決まっていない」は15.7%となっている。

2. 将来の就職に関する希望について

(1) 就職を希望している職種

高校生の就職を希望している職種は、「医療・福祉」が12.3%で最も高く、次いで「官公庁・団体」が9.4%、「教育」が7.9%、「学術研究、専門・技術サービス業」が7.0%となっている。また、「わからない」は26.7%となっている。

大学生・短期大学生の就職を希望している職種は、「教育」が34.8%で最も高く、次いで「医療・福祉」が28.4%、「官公庁・団体」が6.0%、「建設業」が4.4%となっている。また、「わからない」は6.6%となっている。

(2) 希望する勤務地

高校生の希望する勤務地は、「千葉県内」が33.5%で最も高く、次いで「東京都(23区内)」が22.2%となっている。また、「こだわらない」は21.9%、「わからない」は15.9%となっている。

希望する勤務地を「千葉県内」と回答した方の代表的な市町村名は、「千葉市」が9.7%で最も高く、次いで「船橋市」が2.4%となっている。

大学生・短期大学生の希望する勤務地は、「千葉県内」が54.8%で最も高く、次いで「東京都(23区内)」が13.5%となっている。また、「こだわらない」は9.7%、「わからない」は6.5%となっている。

希望する勤務地を「千葉県内」と回答した方の代表的な市町村名は、「千葉市」が17.0%で最も高く、次いで「成田市」が11.9%、「船橋市」が11.2%となっている。

(3) 県内に勤務を希望する理由

高校生の県内に勤務を希望する理由は、「居住地から通勤に便利だから」が64.2%で最も高く、次いで「生活に便利だから」が31.1%、「家族や友人がいる千葉県に愛着があるから」が28.9%、「県内に志望する企業があるから」が6.1%となっている。

大学生・短期大学生の県内に勤務を希望する理由は、「居住地からの通勤に便利だから」が65.9%で最も高く、次いで「家族や友人がいる千葉県に愛着があるから」が37.7%、「生活に便利だから」が29.4%、「県内に志望する企業があるから」が11.2%となっている。

(4) 県内での勤務を希望しない理由

高校生の県内での勤務を希望しない理由は、「大都市圏やリゾート地など、他県で働きたいから」が35.2%で最も高く、次いで「県内に志望する企業がないから」が21.8%、「県内企業の数や求人が充実してなく、選択肢が狭まるから」が16.8%、「生活に不便だから」が16.4%となっている。

大学生・短期大学生の県内での勤務を希望しない理由は、「家族や友人がいる地元（県外）で働きたいから」が37.1%で最も高く、次いで「大都市圏やリゾート地など、他県で働きたいから」が17.9%、「生活に不便だから」が15.7%、「居住地からは通勤できないから」が14.0%となっている。

3. 将来の居住地の希望について

(1) 就職後の居住地の希望

高校生の就職後の居住地の希望は、「千葉県に住みたい（とどまりたい）」が37.3%で最も高くなっている。「千葉県外（国内）に住みたい」が20.1%、「国外に住みたい」が3.1%となっている。また、「こだわらない」は28.1%となっている。

大学生・短期大学生の就職後の居住地の希望は、「千葉県に住みたい（とどまりたい）」が47.8%で最も高くなっている。「千葉県外（国内）に住みたい」が26.3%、「国外に住みたい」が1.8%となっている。また、「こだわらない」は17.4%となっている。

(2) 県内で希望する居住地

高校生の県内で希望する居住地は、「具体的に希望する市町村がある」が50.6%、「県内であればどこでも良い」は48.0%となっている。

県内で「具体的に希望する市町村がある」と回答した方の具体的な市町村は、「千葉市」が23.8%で最も高く、次いで「船橋市」が10.3%、「柏市」が6.1%、「茂原市」が4.7%、「東金市」が4.2%となっている。

大学生・短期大学生の県内で希望する居住地は、「具体的に希望する市町村がある」が71.7%、「県内であればどこでも良い」は25.4%となっている。

県内で「具体的に希望する市町村がある」と回答した方の具体的な市町村は、「千葉市」が25.4%で最も高く、次いで「船橋市」が12.2%、「成田市」が10.8%、「東金市」が4.3%、「市原市」が3.9%となっている。

(3) 千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由

高校生の千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が47.8%で最も高く、次いで「住み慣れていて土地勘があるから」が40.9%、「知人・友人が多いから」が36.4%、「家族の近くにいると便利だから（育児・介護等）」が36.2%、「千葉県（地元）が好きだから」が31.4%となっている。

大学生・短期大学生の千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が64.3%で最も高く、次いで「住み慣れていて土地勘があるから」が45.0%、「家族の近くにいると便利だから（育児・介護等）」が44.2%、「知人・友人が多いから」が38.0%、「千葉県（地元）が好きだから」が26.0%となっている。

(4) 県外で希望する居住地

高校生の県外で希望する居住地は、「東京都（23区内）」が52.6%で最も高くなっている。

大学生・短期大学生の県外で希望する居住地は、「東京都（23区内）」が38.3%で最も高く、次いで「その他の地域」が26.2%となっている。

(5) 千葉県を居住地に選ばない理由

高校生の千葉県を居住地に選ばない理由は、「他県に住みたい街があるから」が44.3%で最も高く、次いで「交通が不便だから」が37.3%、「都心まで遠いから」が31.1%、「商業・レジャー施設が少ないから」が21.1%、「希望する働き場所がないから」が17.1%となっている。

大学生・短期大学生の千葉県を居住地に選ばない理由は、「県外に自宅があるから」が42.1%で最も高く、次いで「県外に住む家族の近くで暮らしたいから（育児、介護等）」と「知人、友人が多い出身地（県外）に住みたいから」がともに21.0%、「交通が不便だから」が20.1%、「都心まで遠いから」が19.6%となっている。

4. 「居住地として選ばれる千葉」について

(1) 千葉県が居住地として選ばれるために重要なこと

高校生の千葉県が居住地として選ばれるために重要なことは、「都心へのアクセスが良いこと」が41.1%で最も高く、次いで「治安が良いこと」が38.9%、「災害に強いこと」が24.3%、「医療・福祉環境が充実していること」が24.0%、「商業・レジャー施設が充実していること」が20.9%となっている。

大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために重要なことは、「治安が良いこと」が60.7%で最も高く、次いで「都心へのアクセスが良いこと」が28.0%、「医療・福祉環境が充実していること」が26.2%、「子育て環境が充実していること」が24.3%、「希望する働き場所があること」が24.2%となっている。

(2) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

高校生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことは、「治安対策」が27.0%で最も高く、次いで「災害対策」が24.9%、「地域におけるバス等の交通の利便性」が24.2%、「商業・レジャー施設の充実」が21.2%、「子育て環境・支援」が21.1%となっている。

大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことは、「治安対策」が30.1%で最も高く、次いで「都心へのアクセス」が27.4%、「地域におけるバス等の交通の利便性」が25.9%、「子育て環境・支援」が23.2%、「商業・レジャー施設の充実」が19.5%となっている。

5. 結婚・子育てなどについて

(1) 「晩婚」や「未婚」が増えている理由

高校生の「晩婚」や「未婚」が増えている理由として考えられるものについては、「結婚の必要性を感じない人が増えているから」が61.8%で最も高く、次いで「独身の自由さや気楽さを失いたくないと考える人が増えているから」が42.0%、「結婚より趣味や娯楽を楽しみたいと考える人が増えているから」が36.5%、「結婚より仕事や学業に打ち込みたいと考える人が増えているから」が35.7%、「異性とうまくつき合えない人が増えているから」が27.4%となっている。

大学生・短期大学生の「晩婚」や「未婚」が増えている理由として考えられるものについては、「結婚の必要性を感じない人が増えているから」が65.4%で最も高く、次いで「結婚より仕事や学業に打ち込みたいと考える人が増えているから」が42.3%、「独身の自由さや気楽さを失いたくないと考える人が増えているから」が40.8%、「異性と知り合う（出会う）機会が減っているから」が38.0%、「結婚より趣味や娯楽を楽しみたいと考える人が増えているから」が35.7%となっている。

(2) 子どもを持つために必要だと思う条件

高校生の子どもを持つために必要だと思う条件は、「働きながら子育てができる職場環境であること」が50.5%で最も高く、次いで「地域の保育サービス（保育所や一時預かりなど）が整うこと」が46.2%、「教育にお金がかかりすぎないこと」が39.0%、「雇用が安定すること」が30.3%、「健康上の問題がないこと」が18.8%となっている。

大学生・短期大学生の子どもを持つために必要だと思う条件は、「働きながら子育てができる職場環境であること」が52.1%で最も高く、次いで「地域の保育サービス（保育所や一時預かりなど）が整うこと」が50.6%、「教育にお金がかかりすぎないこと」が42.1%、「雇用が安定すること」が34.2%、「配偶者が家事・育児に協力してくれること」が24.3%となっている。

Ⅲ 調査結果の詳細

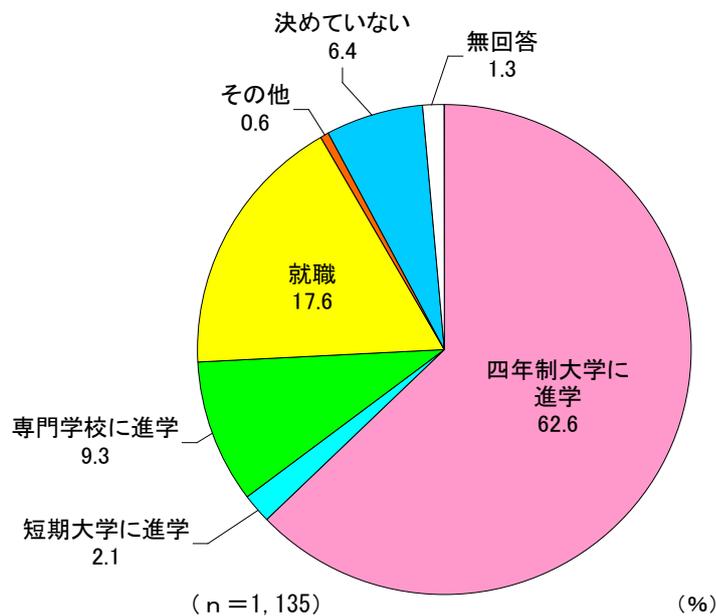
1. 進路に関する希望について

(1) 高校卒業後の進路に関する現在の希望（高校生のみ）

問 高校卒業後の進路に関する現在の希望はどれですか。

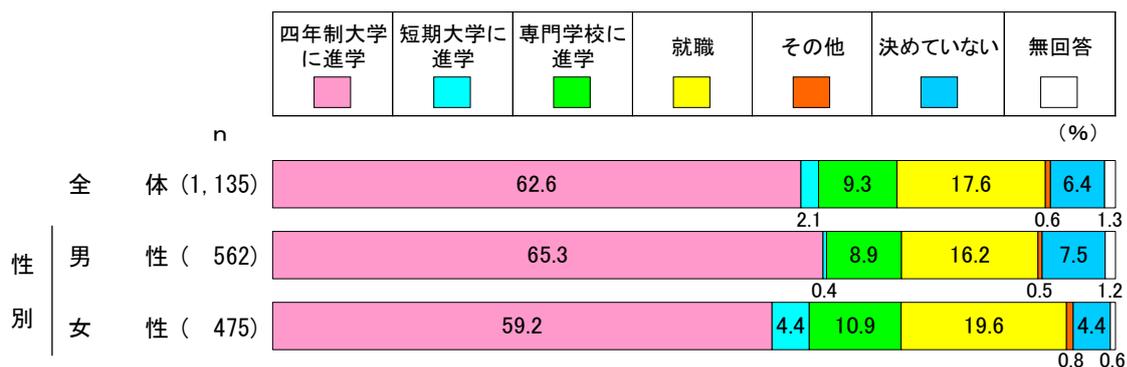
高校卒業後の進路は、「四年制大学に進学」が62.6%で最も高く、次いで「就職」が17.6%、「専門学校に進学」が9.3%、「短期大学に進学」が2.1%となっている。また、「決めていない」は6.4%となっている。

<図表 高校卒業後の進路に関する現在の希望－高校生>



性別でみると、「四年制大学に進学」では男性（65.3%）が女性（59.2%）より6.1ポイント高くなっている。一方、「就職」では女性（19.6%）が男性（16.2%）より3.4ポイント高くなっている。

<図表 高校卒業後の進路に関する現在の希望－高校生（性別）>

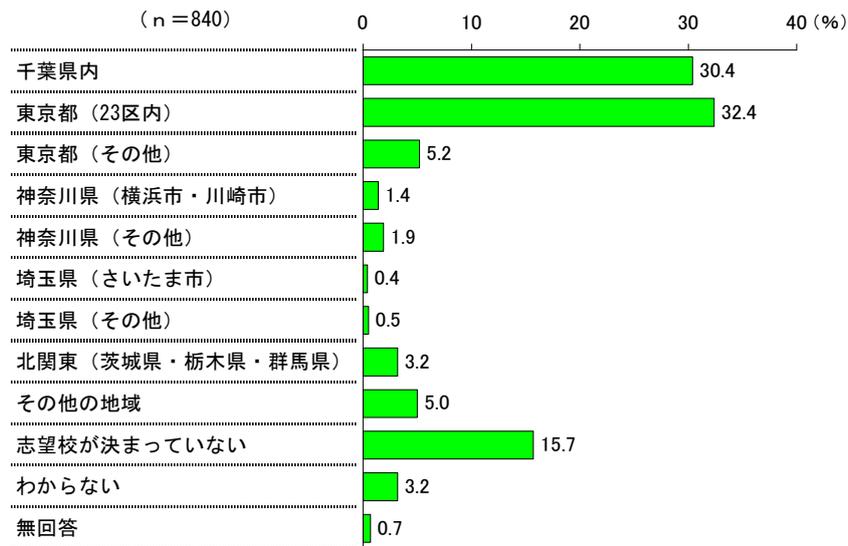


(2) 第一志望の学校の所在地 (高校生のみ)

問 高校卒業後の進路に関する現在の希望で、「四年制大学に進学」「短期大学に進学」「専門学校に進学」と回答した方について、第一志望の学校の所在地はどこですか。

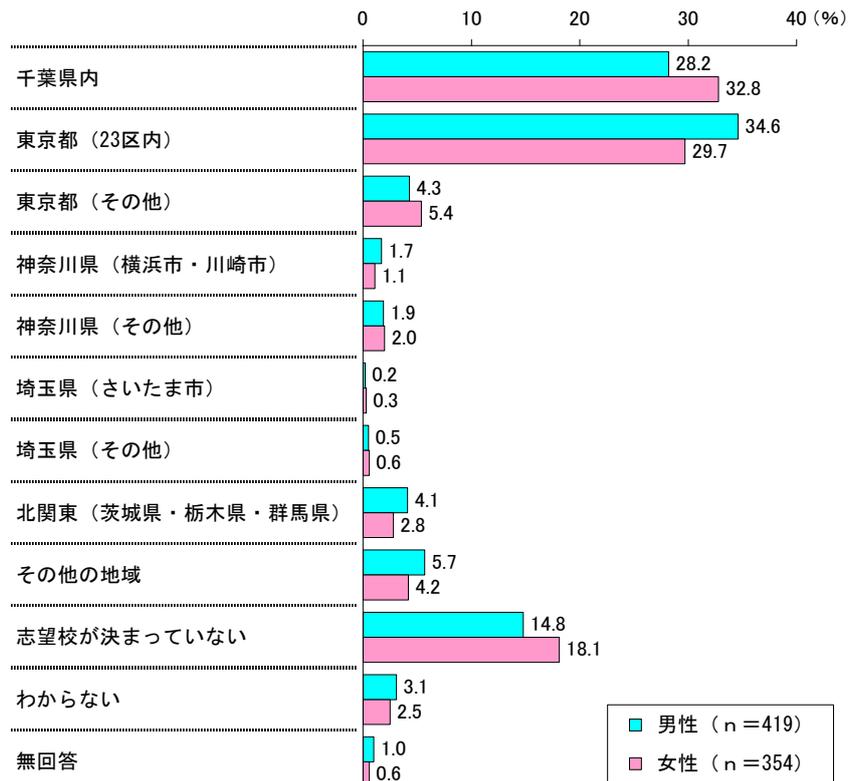
第一志望の学校の所在地は、「東京都 (23 区内)」が 32.4%で最も高く、次いで「千葉県内」が 30.4%となっている。また、「志望校が決まっていない」は 15.7%となっている。

<図表 第一志望の学校の所在地—高校生>



性別で見ると、「東京都 (23 区内)」では男性 (34.6%) が女性 (29.7%) より 4.9 ポイント高くなっている。一方、「千葉県内」では女性 (32.8%) が男性 (28.2%) より 4.6 ポイント高くなっている。

<図表 第一志望の学校の所在地—高校生 (性別) >



2. 将来の就職に関する希望について

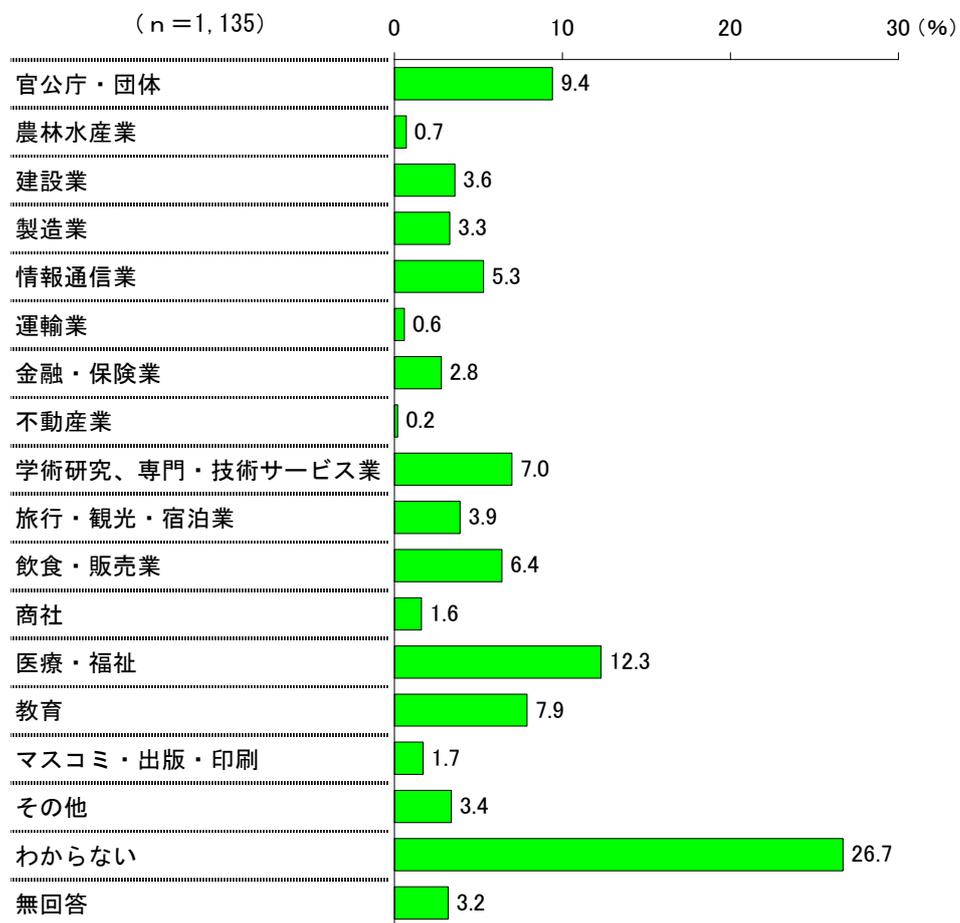
(1) 就職を希望している職種

問 将来（高校・大学等の卒業後）、就職を希望している職種はどのようなものですか。
次の中から、最も希望に近いと思うものを1つ選択してください。

① 高校生

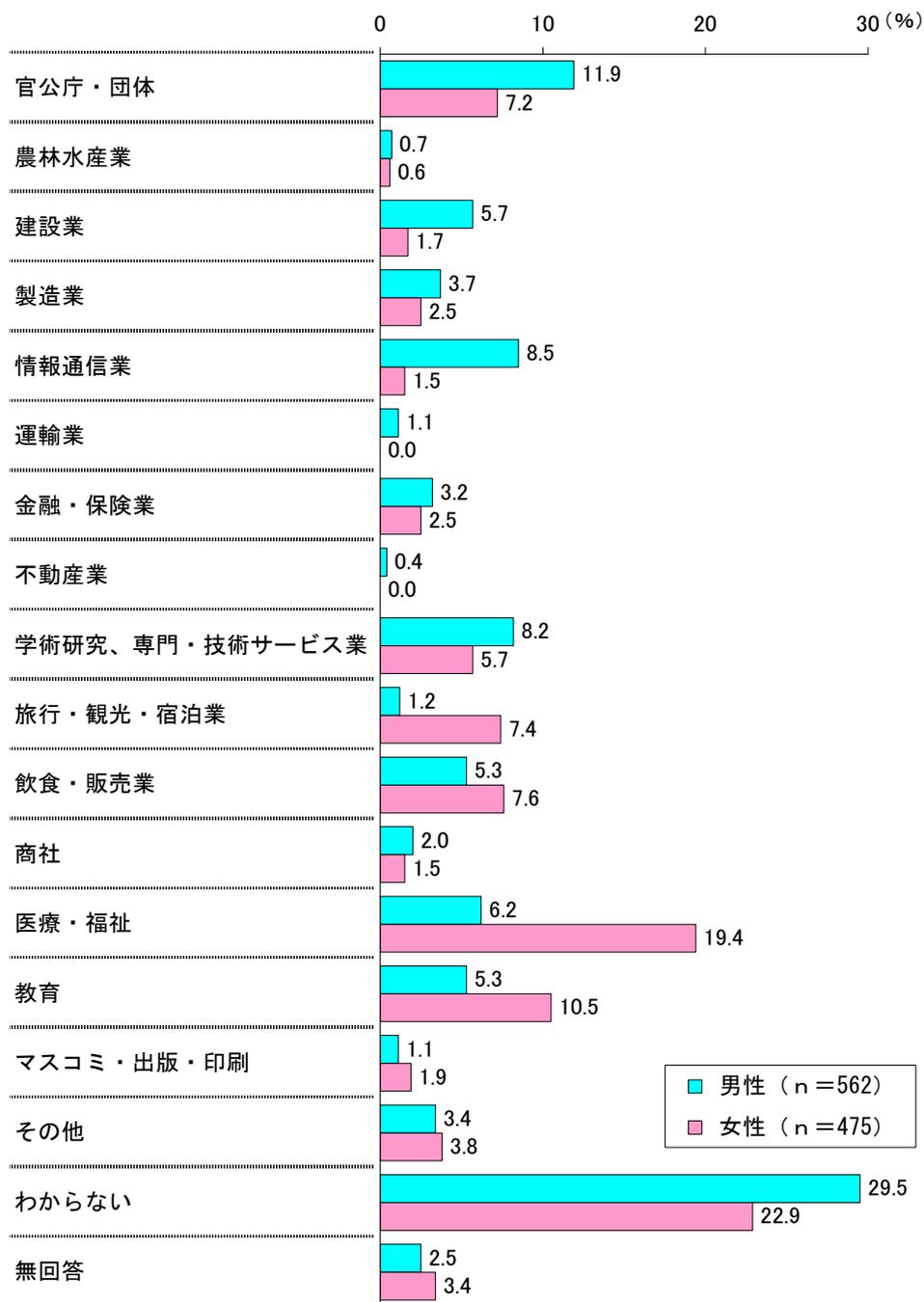
高校生の就職を希望している職種は、「医療・福祉」が12.3%で最も高く、次いで「官公庁・団体」が9.4%、「教育」が7.9%、「学術研究、専門・技術サービス業」が7.0%となっている。また、「わからない」は26.7%となっている。

<図表 就職を希望している職種－高校生>



性別で見ると、「医療・福祉」では女性（19.4%）が男性（6.2%）より13.2ポイント、「旅行・観光・宿泊業」では女性（7.4%）が男性（1.2%）より6.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「情報通信業」では男性（8.5%）が女性（1.5%）より7.0ポイント、「官公庁・団体」では男性（11.9%）が女性（7.2%）より4.7ポイント、それぞれ高くなっている。

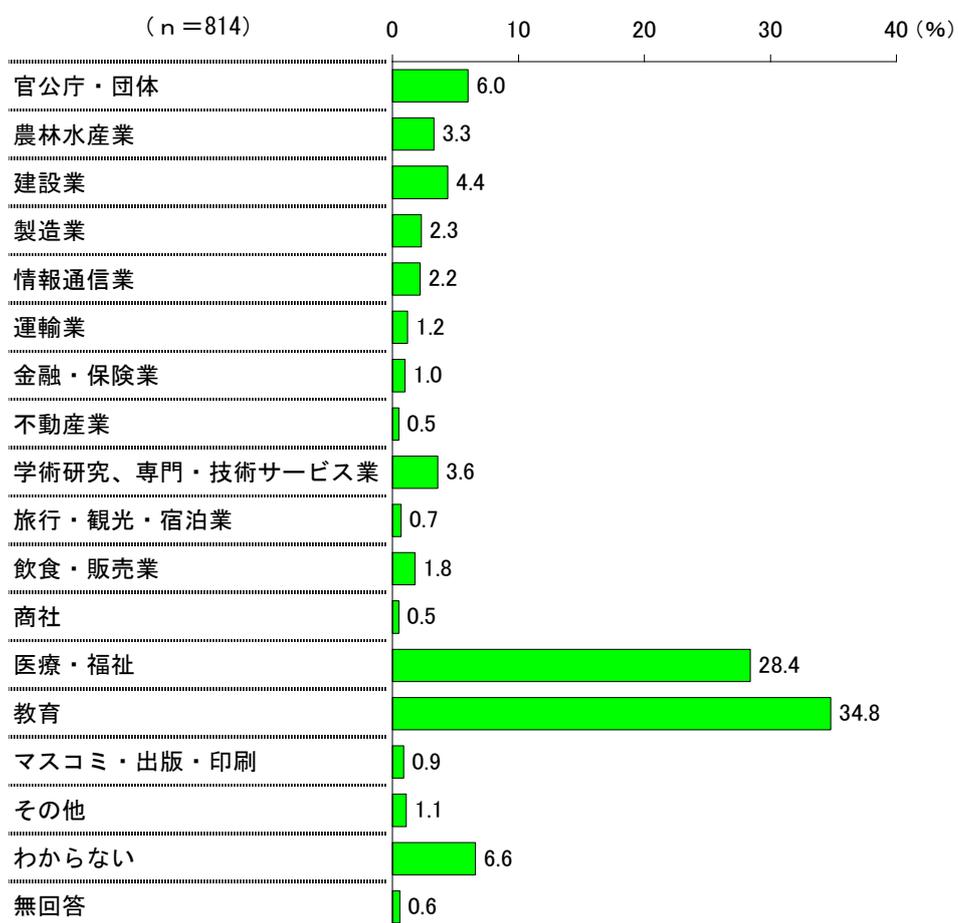
<図表 就職を希望している職種—高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

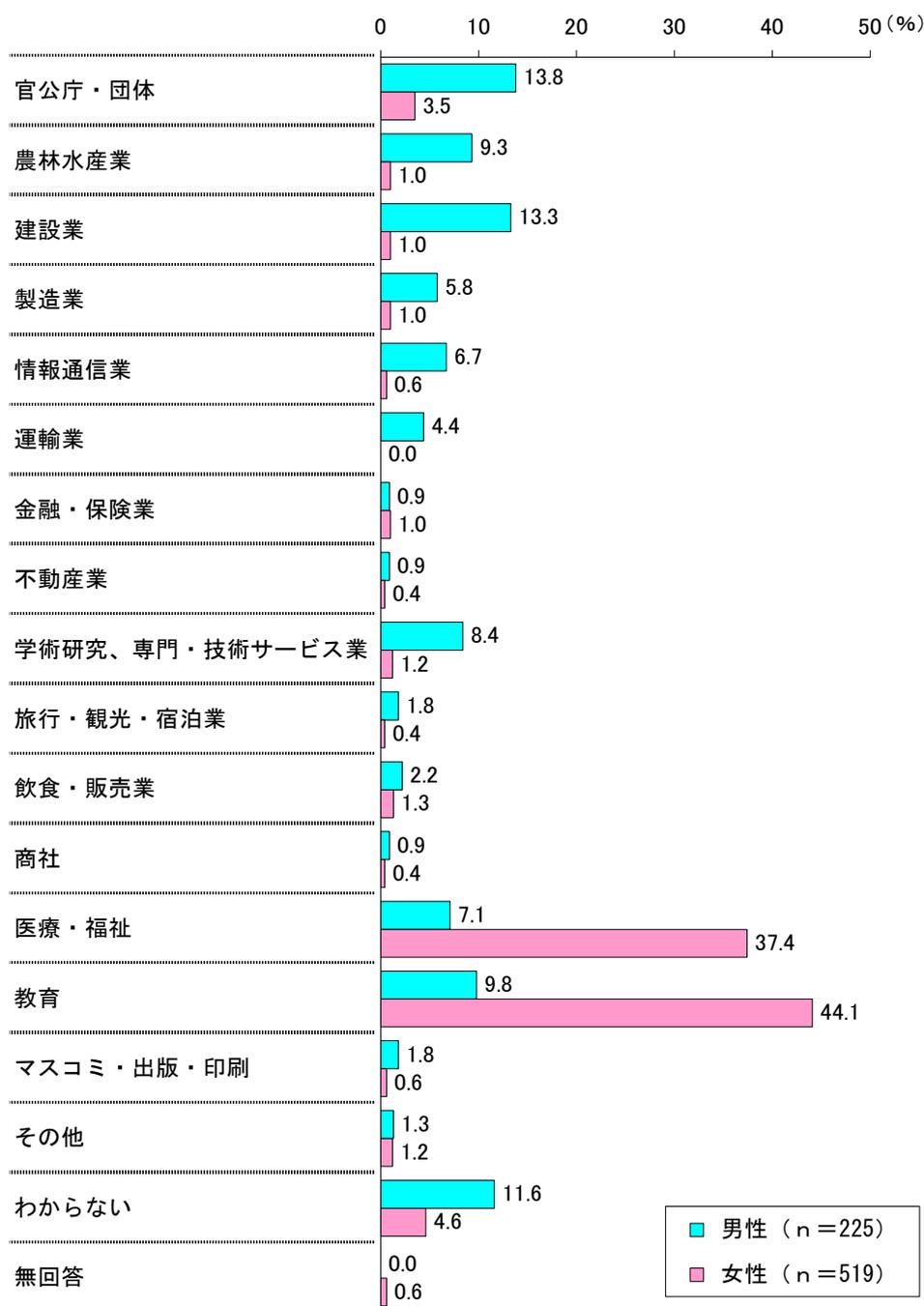
大学生・短期大学生の就職を希望している職種は、「教育」が34.8%で最も高く、次いで「医療・福祉」が28.4%、「官公庁・団体」が6.0%、「建設業」が4.4%となっている。また、「わからない」は6.6%となっている。

<図表 就職を希望している職種－大学生・短期大学生>



性別で見ると、「教育」では女性（44.1%）が男性（9.8%）より 34.3 ポイント、「医療・福祉」では女性（37.4%）が男性（7.1%）より 30.3 ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「建設業」では男性（13.3%）が女性（1.0%）より 12.3 ポイント、「官公庁・団体」では男性（13.8%）が女性（3.5%）より 10.3 ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 就職を希望している職種—大学生・短期大学生（性別）>

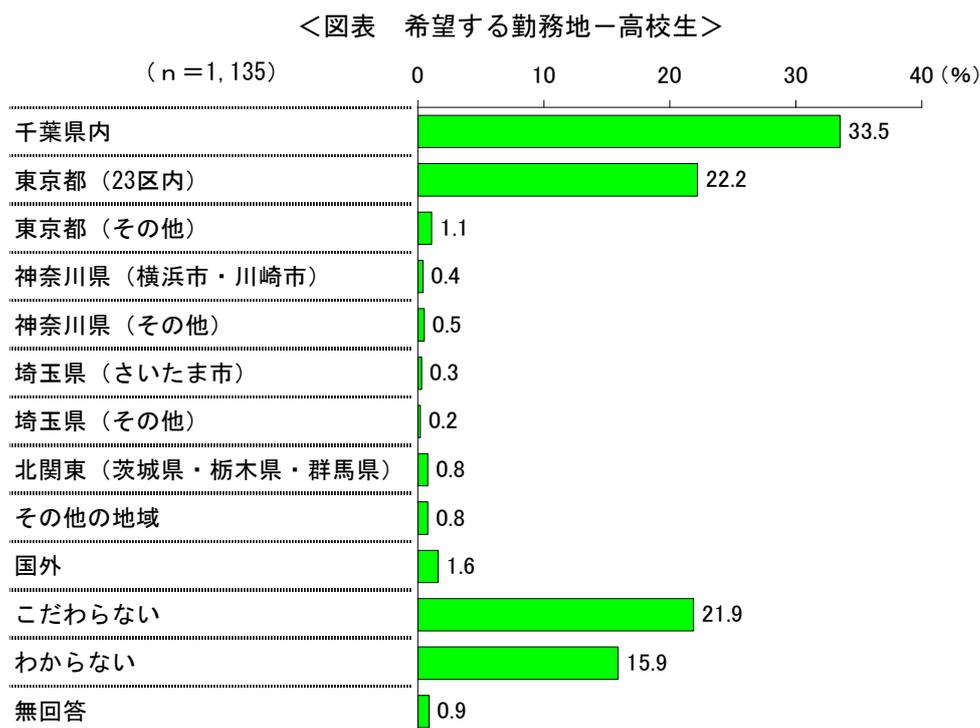


(2) 希望する勤務地

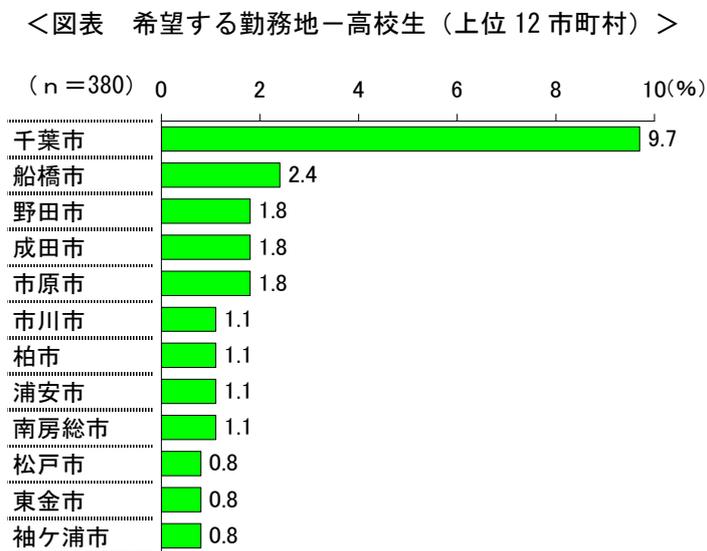
問 希望する勤務地はどこですか。また、「千葉県内」と回答した方について、県内で希望する地域の代表的な市町村名があれば、ご記入ください。

① 高校生

高校生の希望する勤務地は、「千葉県内」が 33.5%で最も高く、次いで「東京都（23 区内）」が 22.2%となっている。また、「こだわらない」は 21.9%、「わからない」は 15.9%となっている。

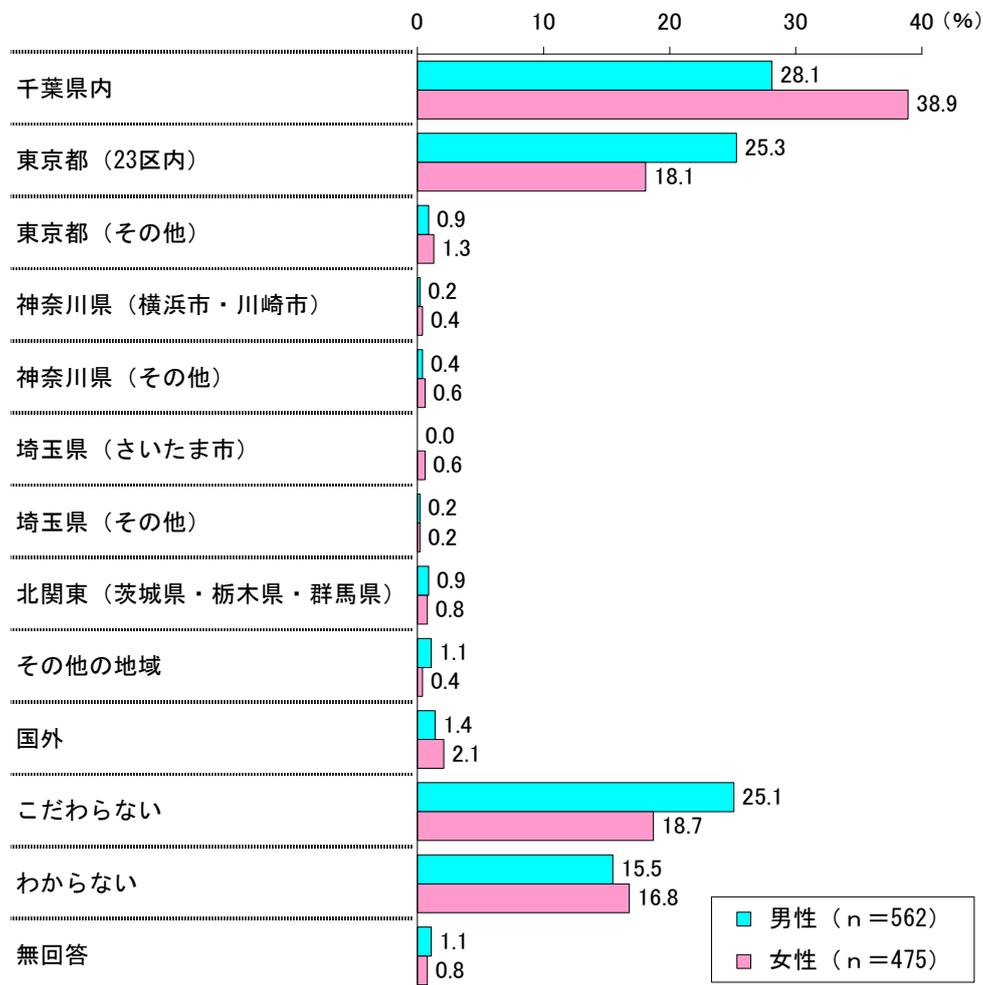


希望する勤務地を「千葉県内」と回答した方の代表的な市町村名は、「千葉市」が 9.7%で最も高く、次いで「船橋市」が 2.4%となっている。



性別で見ると、「千葉県内」では女性（38.9%）が男性（28.1%）より10.8ポイント高くなっている。一方、「東京都（23区内）」では男性（25.3%）が女性（18.1%）より7.2ポイント、「こだわらない」では男性（25.1%）が女性（18.7%）より6.4ポイント、それぞれ高くなっている。

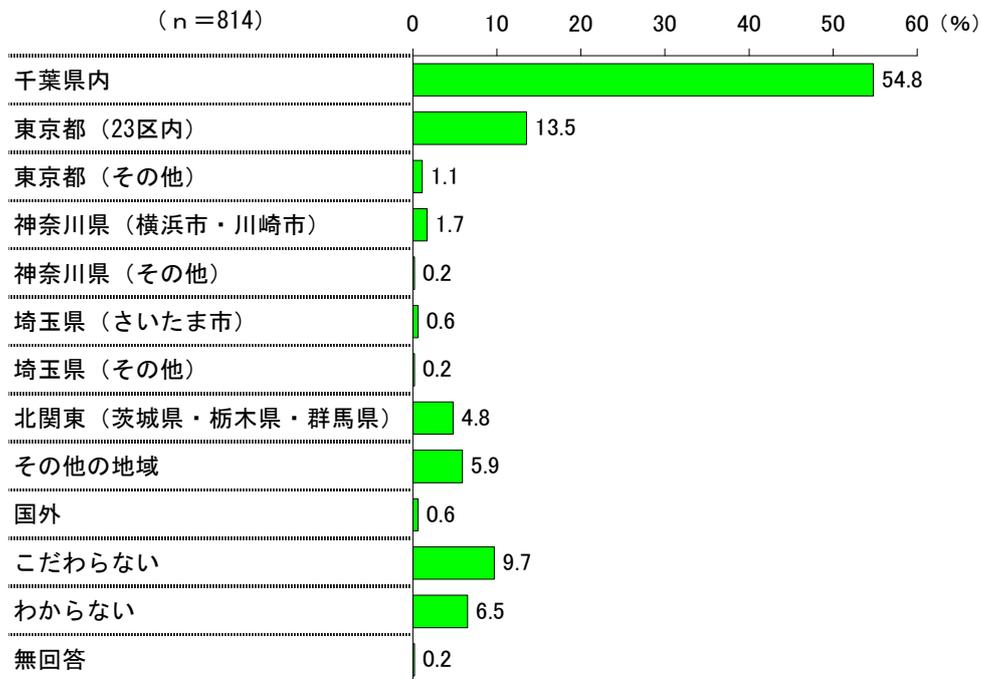
<図表 希望する勤務地—高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

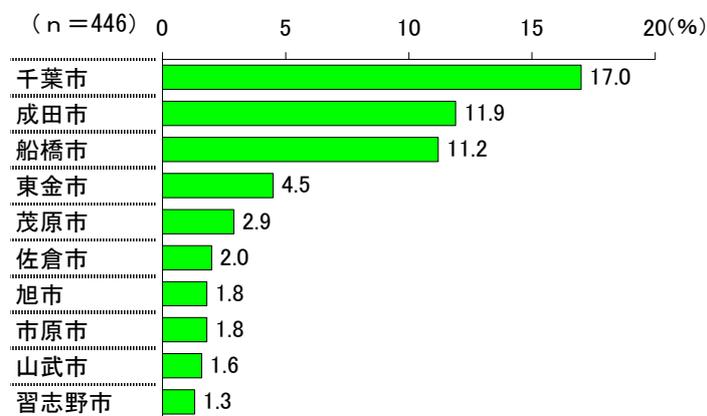
大学生・短期大学生の希望する勤務地は、「千葉県内」が54.8%で最も高く、次いで「東京都（23区内）」が13.5%となっている。また、「こだわらない」は9.7%、「わからない」は6.5%となっている。

＜図表 希望する勤務地—大学生・短期大学生＞



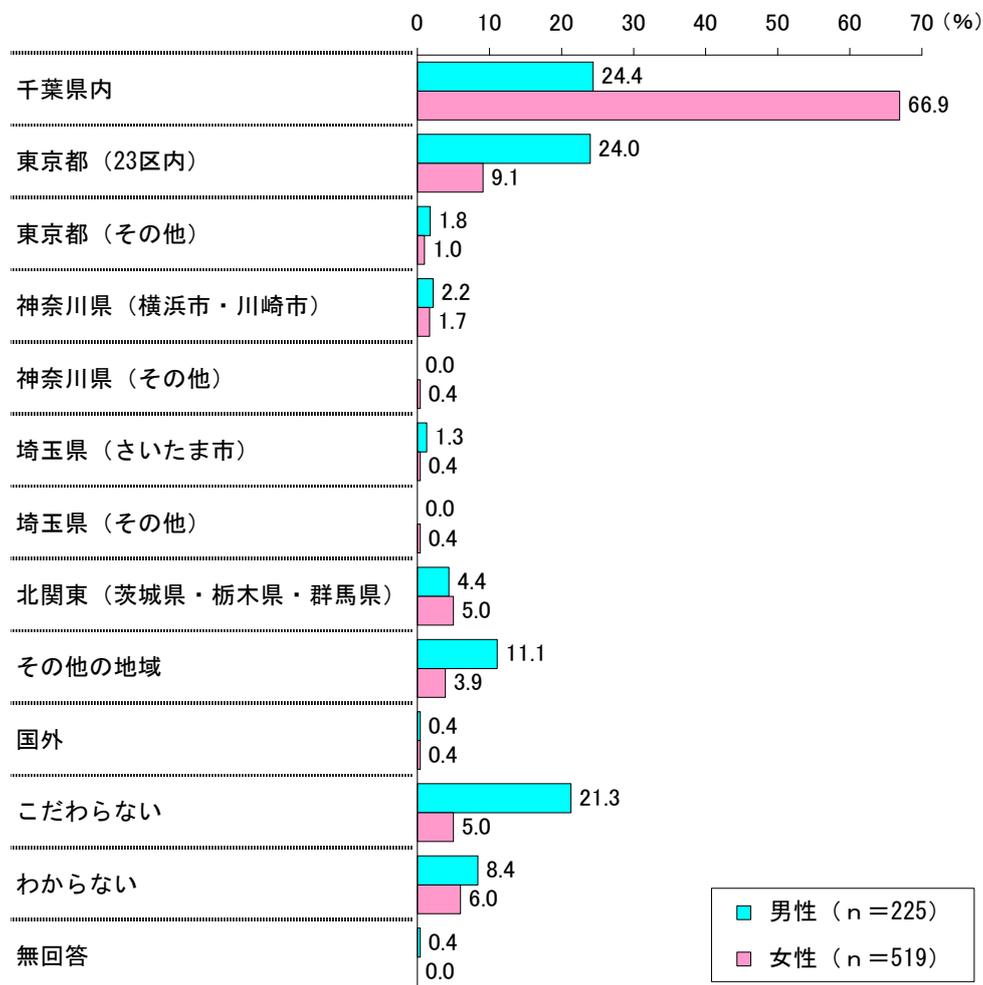
希望する勤務地を「千葉県内」と回答した方の代表的な市町村名は、「千葉市」が17.0%で最も高く、次いで「成田市」が11.9%、「船橋市」が11.2%となっている。

＜図表 希望する勤務地—大学生・短期大学生（上位10市町村）＞



性別で見ると、「千葉県内」では女性（66.9%）が男性（24.4%）より42.5ポイント高くなっている。一方、「こだわらない」では男性（21.3%）が女性（5.0%）より16.3ポイント、「東京都（23区内）」では男性（24.0%）が女性（9.1%）より14.9ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 希望する勤務地—大学生・短期大学生（性別）>



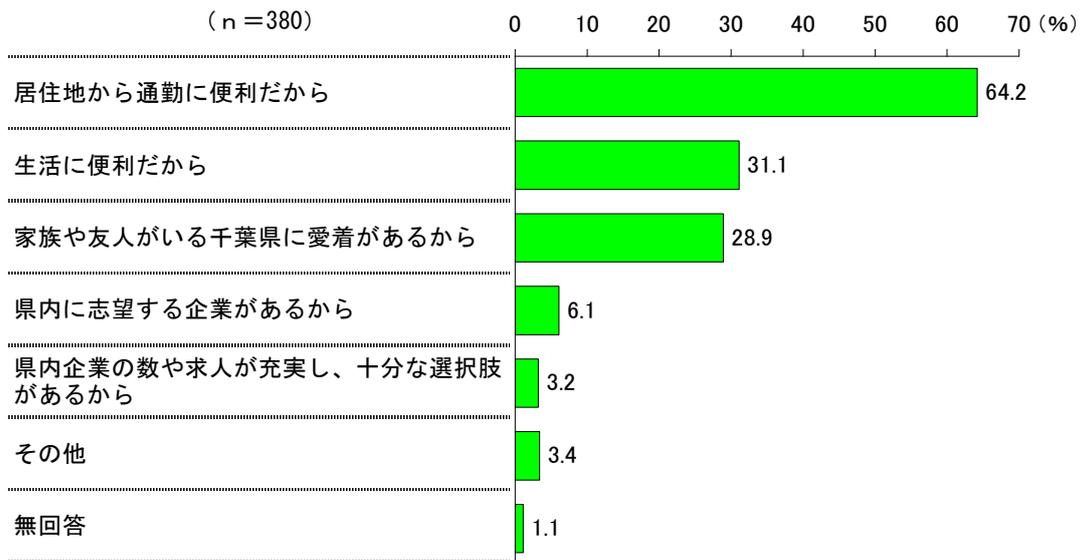
(3) 県内に勤務を希望する理由

問 希望する勤務地で、「千葉県内」を回答した方について、千葉県内に勤務を希望する理由は何ですか。(複数可)

① 高校生

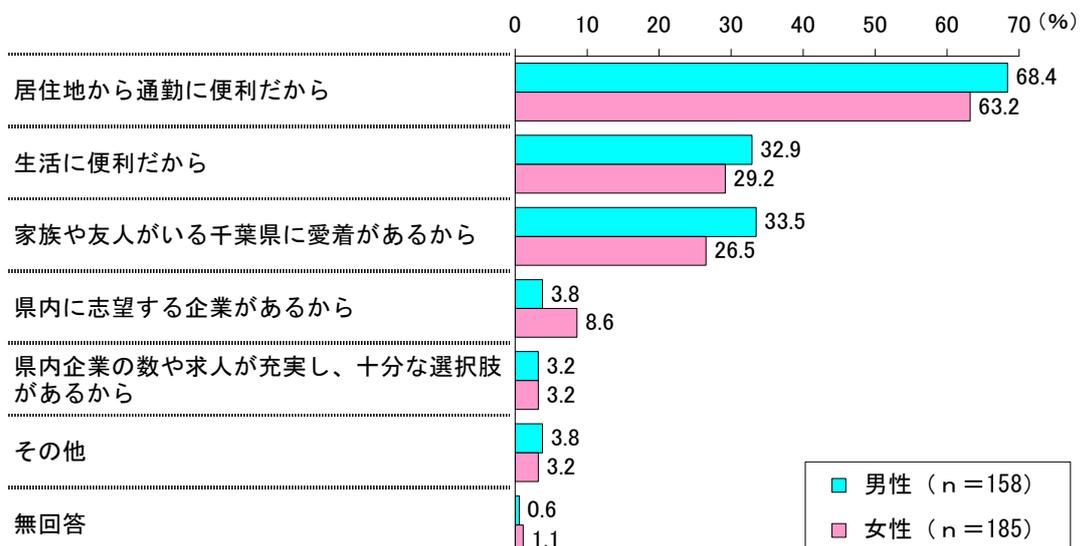
高校生の県内に勤務を希望する理由は、「居住地から通勤に便利だから」が64.2%で最も高く、次いで「生活に便利だから」が31.1%、「家族や友人がいる千葉県に愛着があるから」が28.9%、「県内に志望する企業があるから」が6.1%となっている。

<図表 県内に勤務を希望する理由－高校生>



性別でみると、「家族や友人がいる千葉県に愛着があるから」では男性(33.5%)が女性(26.5%)より7.0ポイント、「居住地から通勤に便利だから」では男性(68.4%)が女性(63.2%)より5.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「県内に志望する企業があるから」では女性(8.6%)が男性(3.8%)より4.8ポイント高くなっている。

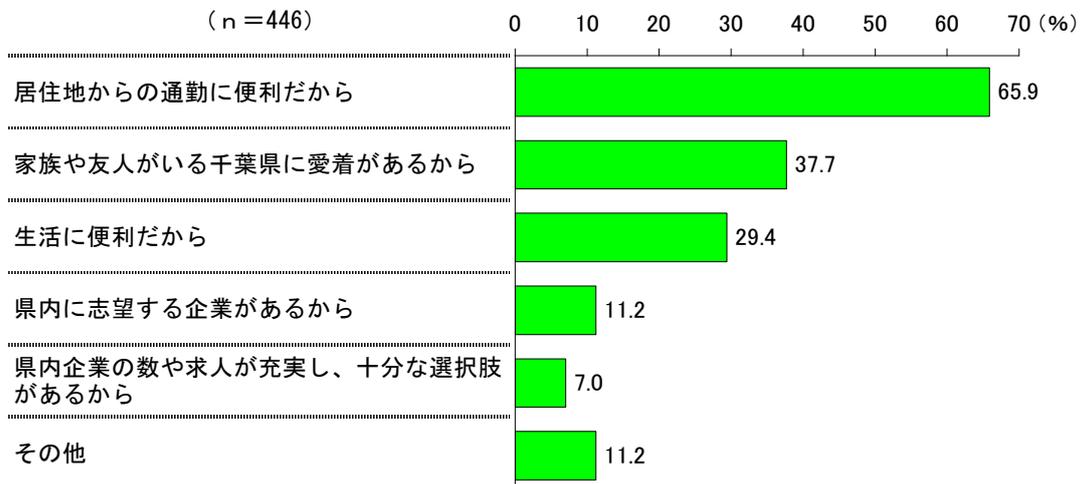
<図表 県内に勤務を希望する理由－高校生(性別)>



② 大学生・短期大学生

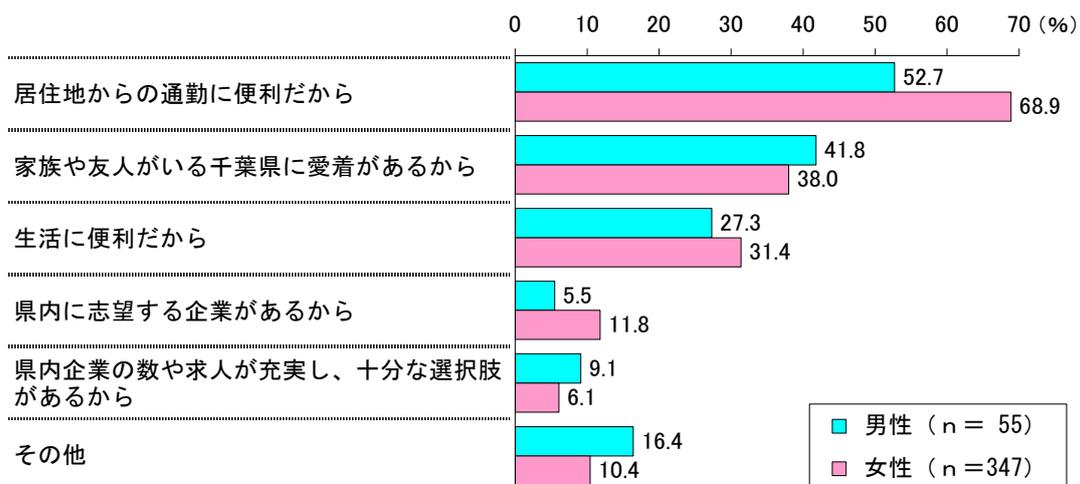
大学生・短期大学生の県内に勤務を希望する理由は、「居住地からの通勤に便利だから」が65.9%で最も高く、次いで「家族や友人がいる千葉県に愛着があるから」が37.7%、「生活に便利だから」が29.4%、「県内に志望する企業があるから」が11.2%となっている。

<図表 県内に勤務を希望する理由—大学生・短期大学生>



性別で見ると、「居住地からの通勤に便利だから」では女性(68.9%)が男性(52.7%)より16.2ポイント、「県内に志望する企業があるから」では女性(11.8%)が男性(5.5%)より6.3ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「家族や友人がいる千葉県に愛着があるから」では男性(41.8%)が女性(38.0%)より3.8ポイント高くなっている。

<図表 県内に勤務を希望する理由—大学生・短期大学生(性別)>



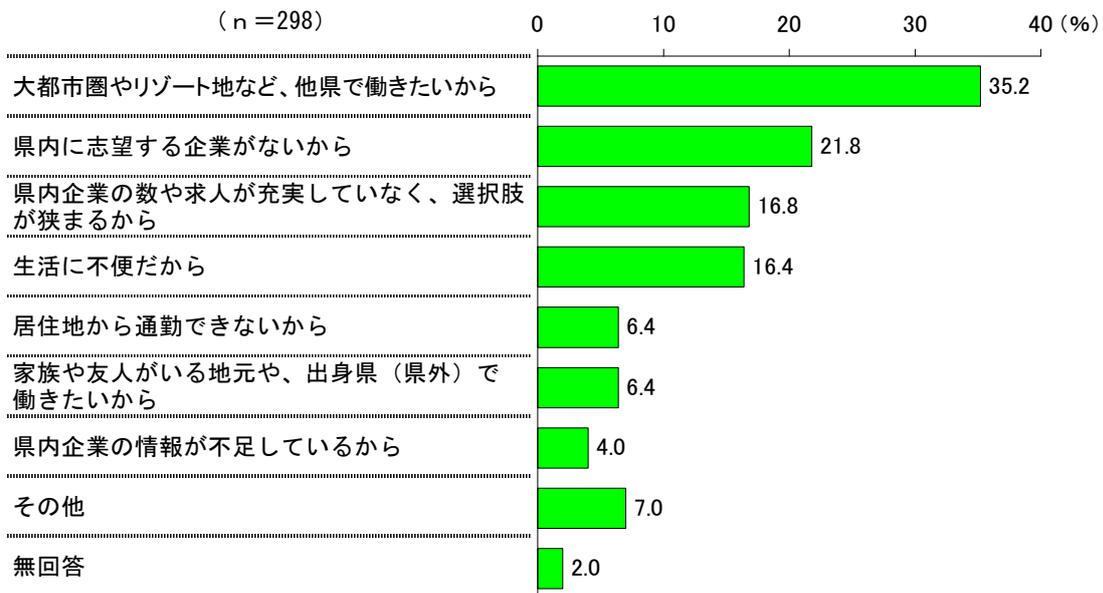
(4) 県内での勤務を希望しない理由

問 希望する勤務地で、「千葉県内」以外を回答した方について、千葉県内での勤務を希望しない理由は何ですか。(複数可)

① 高校生

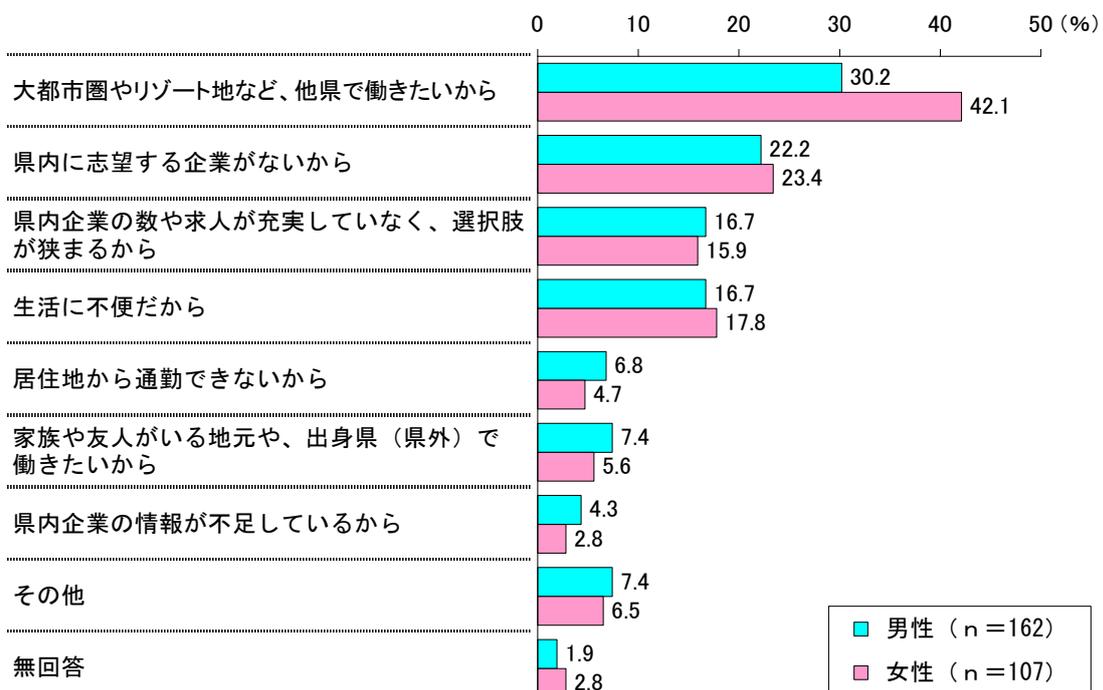
高校生の県内での勤務を希望しない理由は、「大都市圏やリゾート地など、他県で働きたいから」が35.2%で最も高く、次いで「県内に志望する企業がないから」が21.8%、「県内企業の数や求人が充実していきなく、選択肢が狭まるから」が16.8%、「生活に不便だから」が16.4%となっている。

<図表 県内での勤務を希望しない理由－高校生>



性別でみると、「大都市圏やリゾート地など、他県で働きたいから」では女性（42.1%）が男性（30.2%）より11.9ポイント高くなっている。

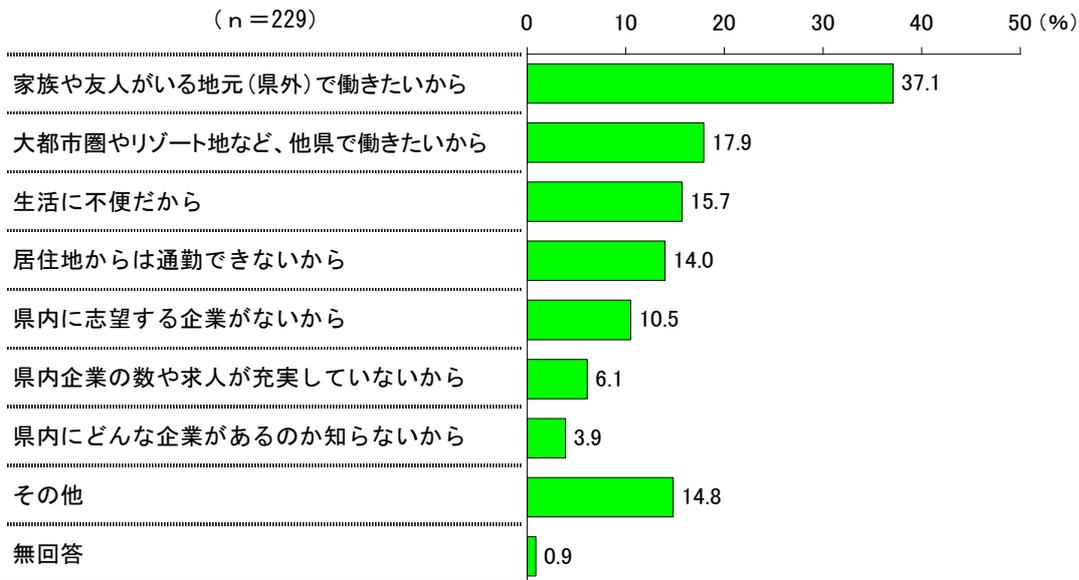
<図表 県内での勤務を希望しない理由－高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

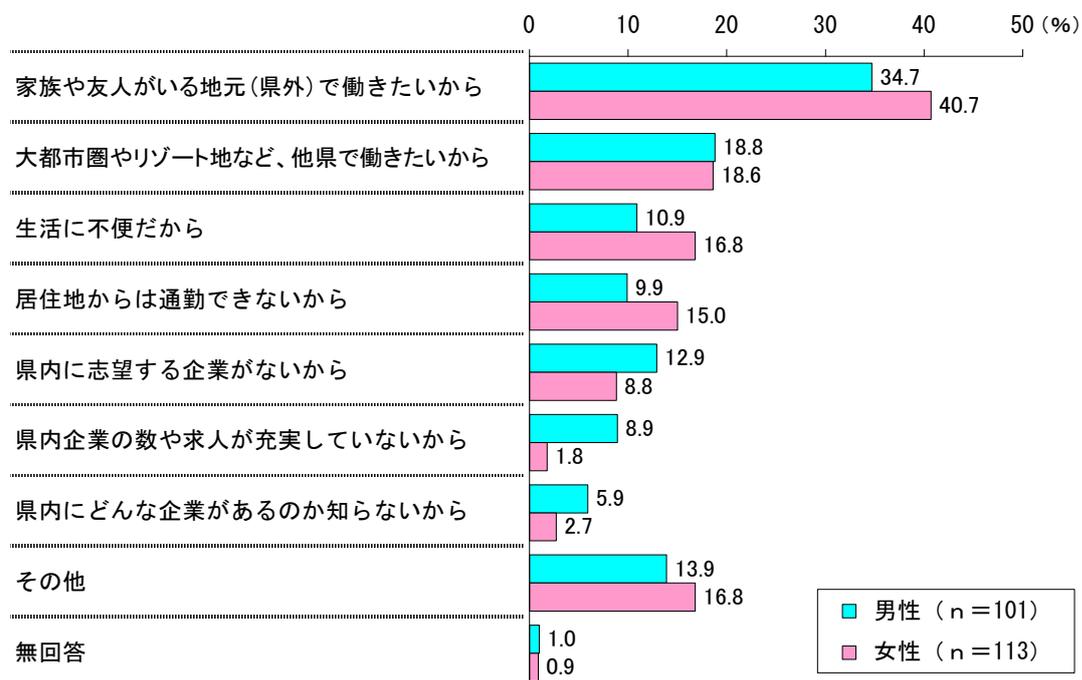
大学生・短期大学生の県内での勤務を希望しない理由は、「家族や友人がいる地元（県外）で働きたいから」が 37.1%で最も高く、次いで「大都市圏やリゾート地など、他県で働きたいから」が 17.9%、「生活に不便だから」が 15.7%、「居住地からは通勤できないから」が 14.0%となっている。

＜図表 県内での勤務を希望しない理由—大学生・短期大学生＞



性別でみると、「県内企業の数や求人が充実していないから」では男性（8.9%）が女性（1.8%）より 7.1 ポイント高くなっている。一方、「家族や友人がいる地元（県外）で働きたいから」では女性（40.7%）が男性（34.7%）より 6.0 ポイント高くなっている。

＜図表 県内での勤務を希望しない理由—大学生・短期大学生（性別）＞



3. 将来の居住地の希望について

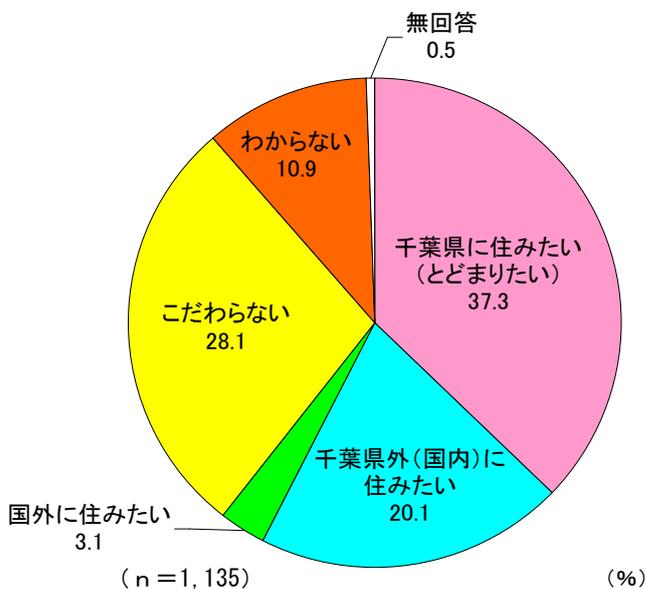
(1) 就職後の居住地の希望

問 あなたは、就職後、どこに住みたいですか。

① 高校生

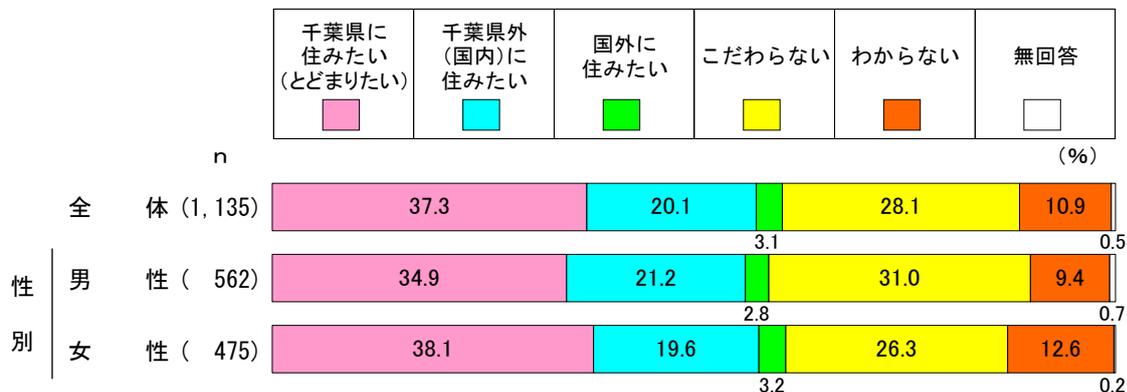
高校生の就職後の居住地の希望は、「千葉県に住みたい(とどまりたい)」が37.3%で最も高くなっている。「千葉県外(国内)に住みたい」が20.1%、「国外に住みたい」が3.1%となっている。また、「こだわらない」は28.1%となっている。

<図表 就職後の居住地の希望－高校生>



性別でみると、「こだわらない」では男性(31.0%)が女性(26.3%)より4.7ポイント高くなっている。一方、「千葉県に住みたい(とどまりたい)」では女性(38.1%)が男性(34.9%)より3.2ポイント高くなっている。

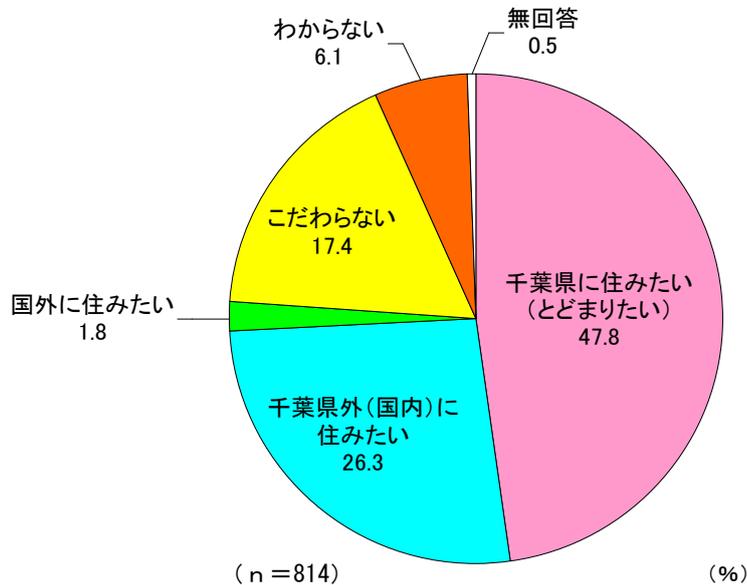
<図表 就職後の居住地の希望－高校生(性別)>



② 大学生・短期大学生

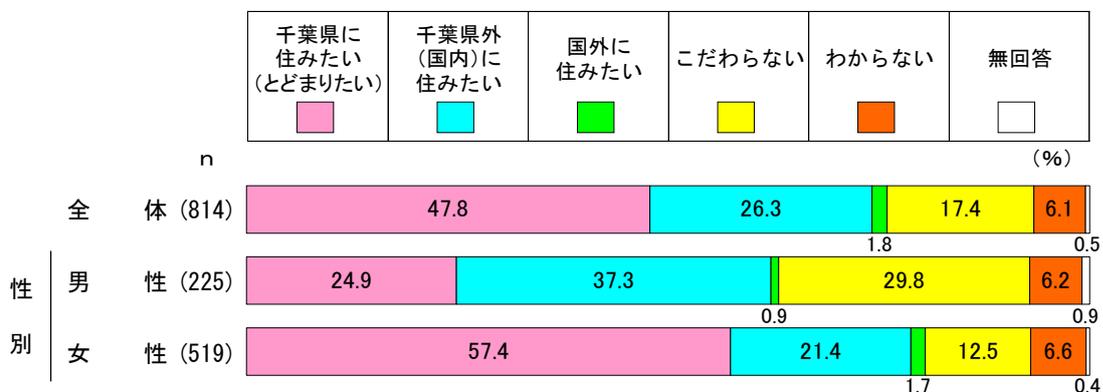
大学生・短期大学生の就職後の居住地の希望は、「千葉県に住みたい（とどまりたい）」が47.8%で最も高くなっている。「千葉県外（国内）に住みたい」が26.3%、「国外に住みたい」が1.8%となっている。また、「こだわらない」は17.4%となっている。

<図表 就職後の居住地の希望—大学生・短期大学生>



性別で見ると、「千葉県に住みたい（とどまりたい）」では女性（57.4%）が男性（24.9%）より32.5ポイント高くなっている。一方、「こだわらない」では男性（29.8%）が女性（12.5%）より17.3ポイント、「千葉県外（国内）に住みたい」では男性（37.3%）が女性（21.4%）より15.9ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 就職後の居住地の希望—大学生・短期大学生（性別）>



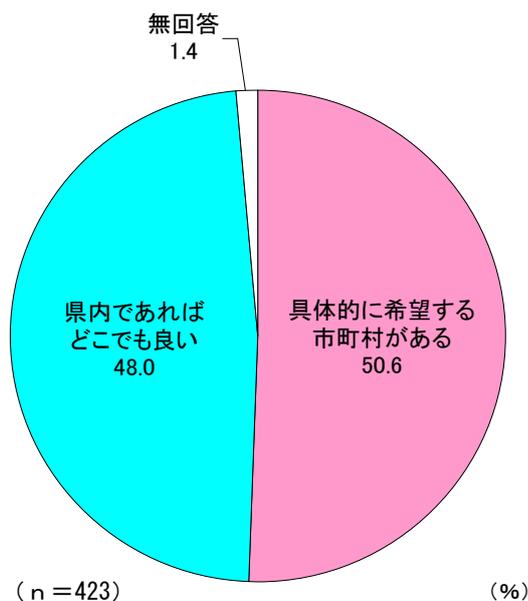
(2) 県内で希望する居住地

問 就職後の居住地の希望で、「千葉県に住みたい（とどまりたい）」と回答した方について、希望する市町村はどこですか。

① 高校生

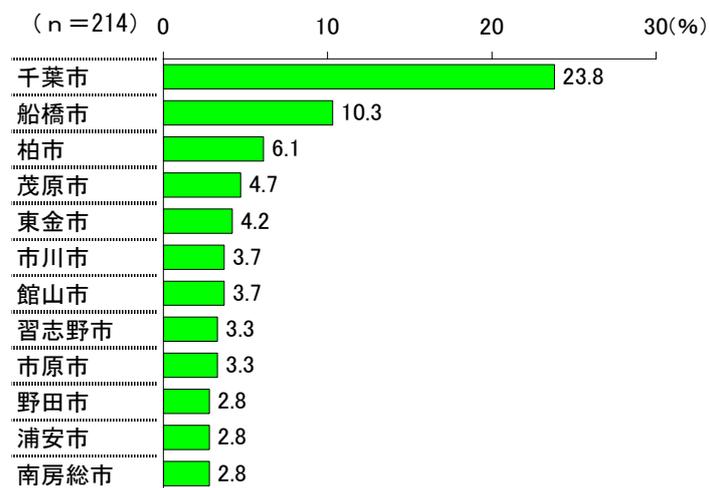
高校生の県内で希望する居住地は、「具体的に希望する市町村がある」が50.6%、「県内であればどこでも良い」は48.0%となっている。

<図表 県内で希望する居住地－高校生>



県内で「具体的に希望する市町村がある」と回答した方の具体的な市町村は、「千葉市」が23.8%で最も高く、次いで「船橋市」が10.3%、「柏市」が6.1%、「茂原市」が4.7%、「東金市」が4.2%となっている。

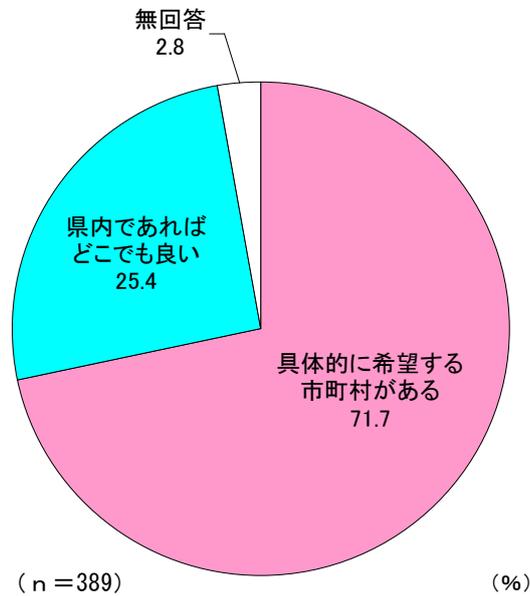
<図表 具体的に希望する市町村－高校生（上位12市町村）>



② 大学生・短期大学生

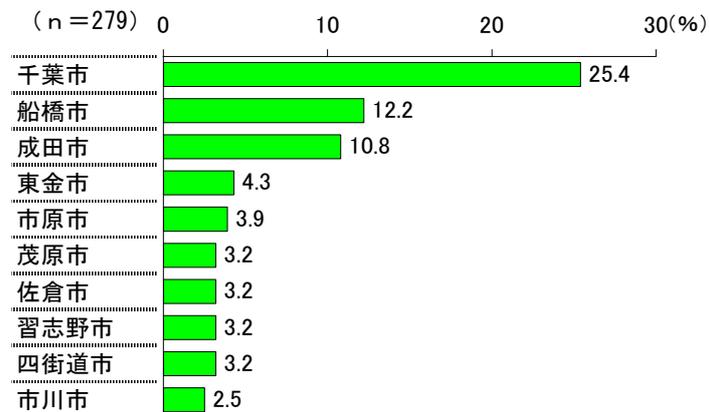
大学生・短期大学生の県内で希望する居住地は、「具体的に希望する市町村がある」が 71.7%、「県内であればどこでも良い」は 25.4%となっている。

<図表 県内で希望する居住地—大学生・短期大学生>



県内で「具体的に希望する市町村がある」と回答した方の具体的な市町村は、「千葉市」が 25.4%で最も高く、次いで「船橋市」が 12.2%、「成田市」が 10.8%、「東金市」が 4.3%、「市原市」が 3.9%となっている。

<図表 具体的に希望する市町村—大学生・短期大学生（上位 10 市町村）>



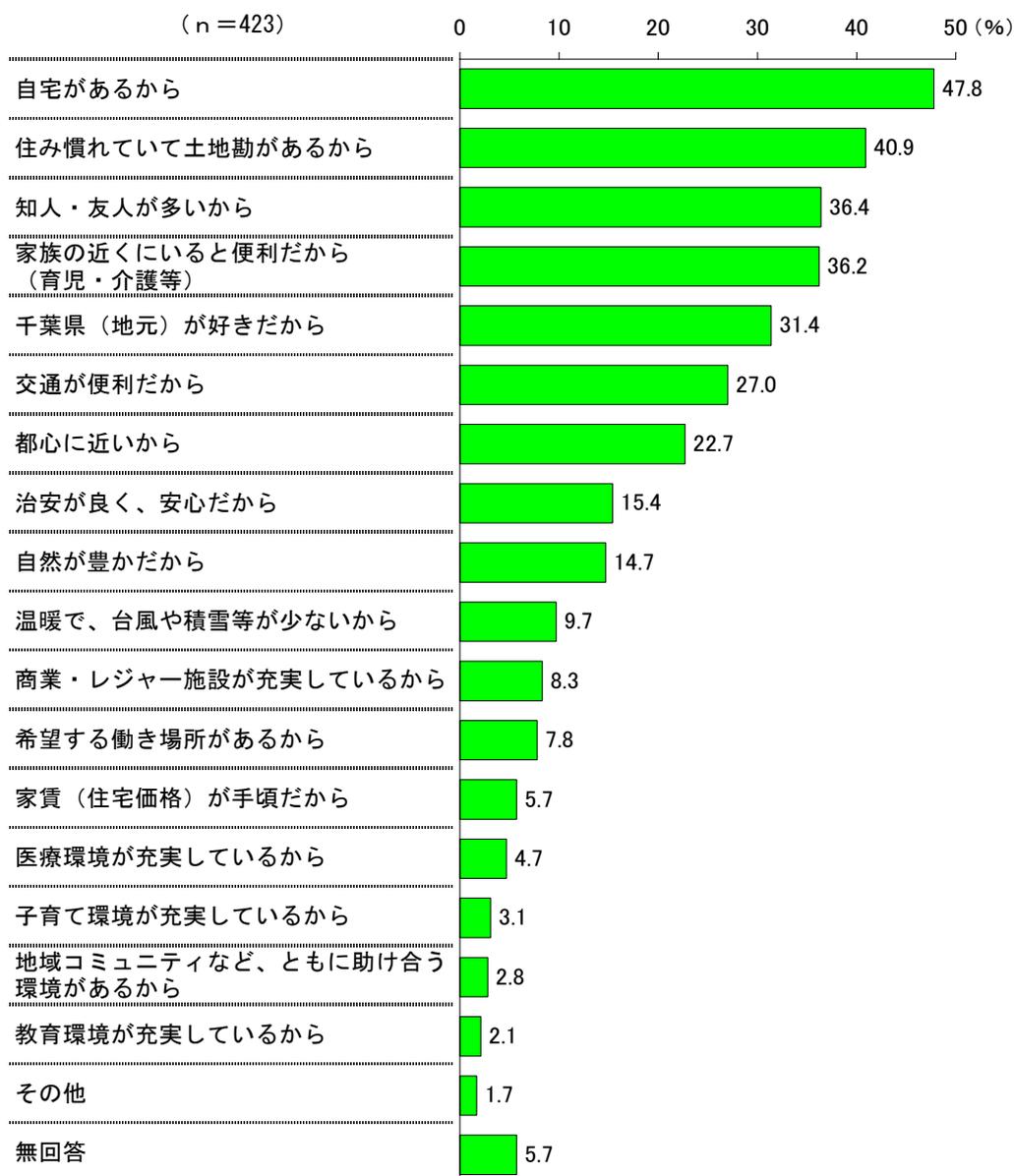
(3) 千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由

問 県内で希望する居住地について、その地域を選ぶ理由は何ですか。(複数可)

① 高校生

高校生の千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が47.8%で最も高く、次いで「住み慣れていて土地勘があるから」が40.9%、「知人・友人が多いから」が36.4%、「家族の近くにいると便利だから(育児・介護等)」が36.2%、「千葉県(地元)が好きだから」が31.4%となっている。

<図表 千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由－高校生>



② 大学生・短期大学生

大学生・短期大学生の千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が64.3%で最も高く、次いで「住み慣れていて土地勘があるから」が45.0%、「家族の近くにいると便利だから（育児・介護等）」が44.2%、「知人・友人が多いから」が38.0%、「千葉県（地元）が好きだから」が26.0%となっている。

<図表 千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由—大学生・短期大学生>



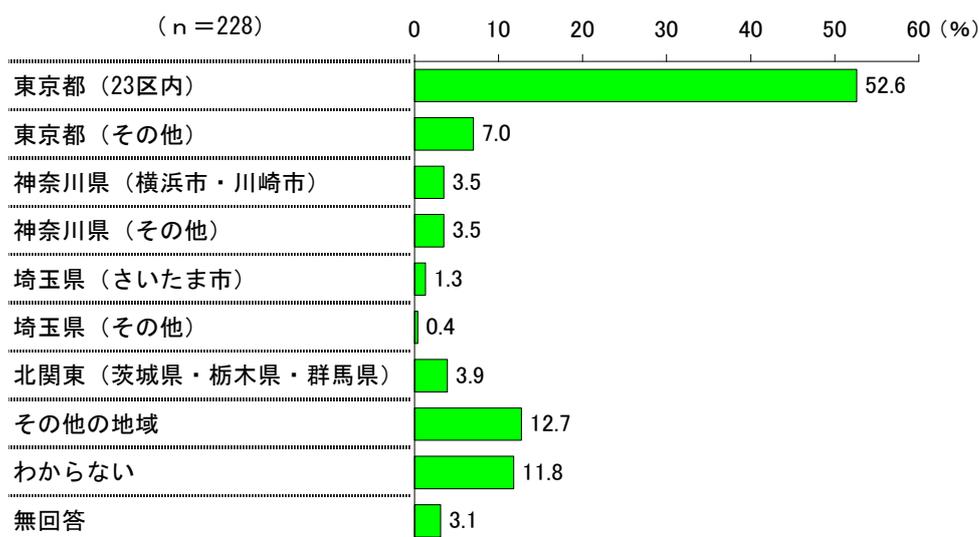
(4) 県外で希望する居住地

問 就職後の居住地の希望で、「千葉県外（国内）に住みたい」と回答した方について、その地域はどこですか。

① 高校生

高校生の県外で希望する居住地は、「東京都（23区内）」が52.6%で最も高くなっている。

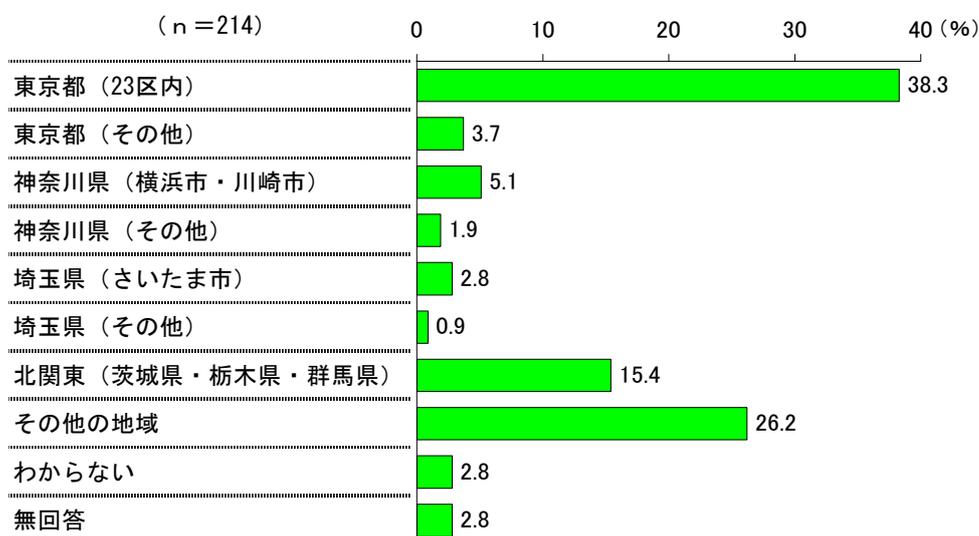
<図表 県外で希望する居住地－高校生>



② 大学生・短期大学生

大学生・短期大学生の県外で希望する居住地は、「東京都（23区内）」が38.3%で最も高く、次いで「その他の地域」が26.2%となっている。

<図表 県外で希望する居住地－大学生・短期大学生>



(5) 千葉県を居住地に選ばない理由

問 就職後の居住地の希望で、「千葉県外（国内）に住みたい」と回答した方について、千葉県を選ばない理由は何ですか。（複数可）

① 高校生

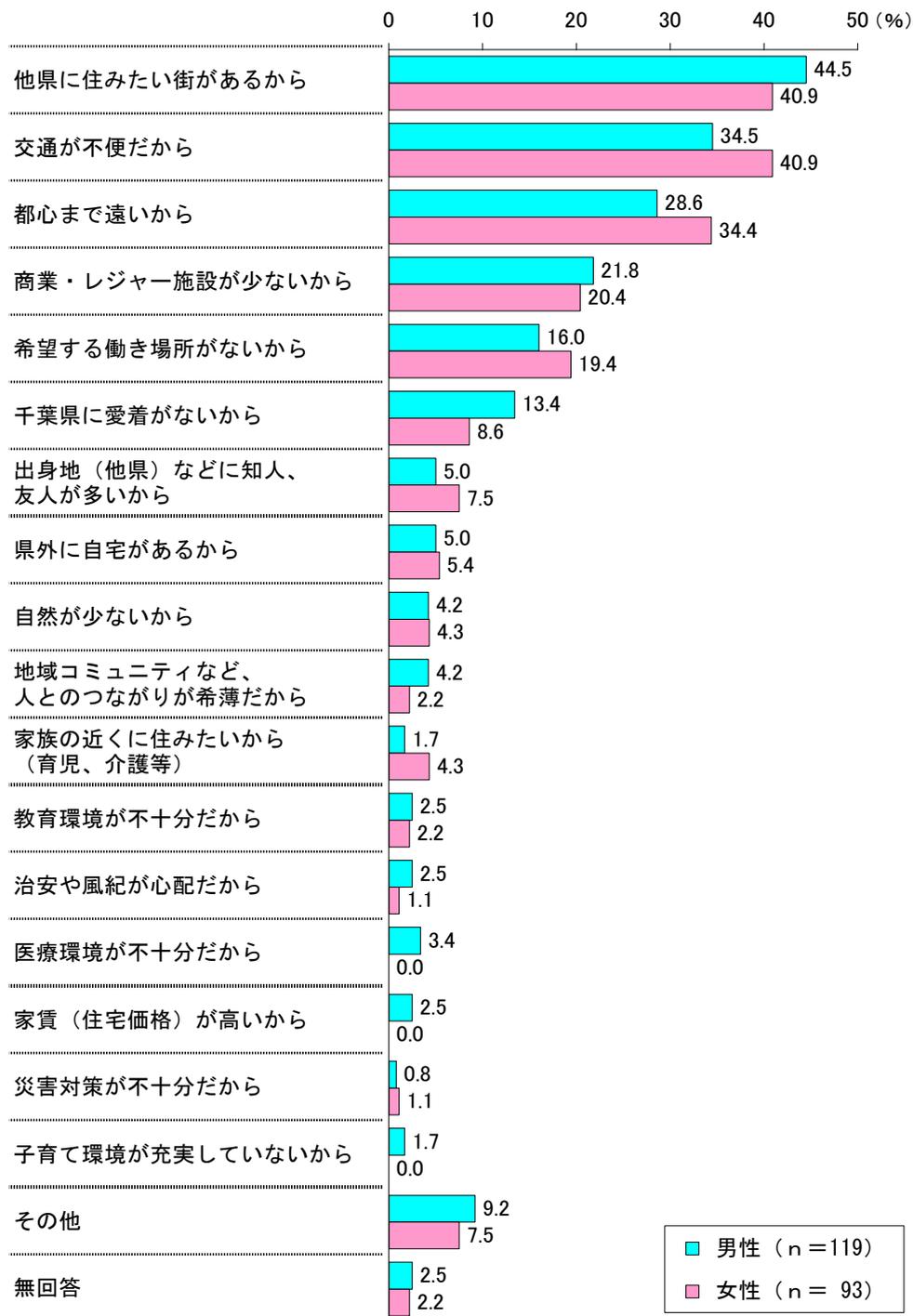
高校生の千葉県を居住地に選ばない理由は、「他県に住みたい街があるから」が44.3%で最も高く、次いで「交通が不便だから」が37.3%、「都心まで遠いから」が31.1%、「商業・レジャー施設が少ないから」が21.1%、「希望する働き場所がないから」が17.1%となっている。

<図表 千葉県を居住地に選ばない理由－高校生>



性別でみると、「交通が不便だから」では女性（40.9%）が男性（34.5%）より6.4ポイント、「都心まで遠いから」では女性（34.4%）が男性（28.6%）より5.8ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「千葉県に愛着がないから」では男性（13.4%）が女性（8.6%）より4.8ポイント、「他県に住みたい街があるから」では男性（44.5%）が女性（40.9%）より3.6ポイント、それぞれ高くなっている。

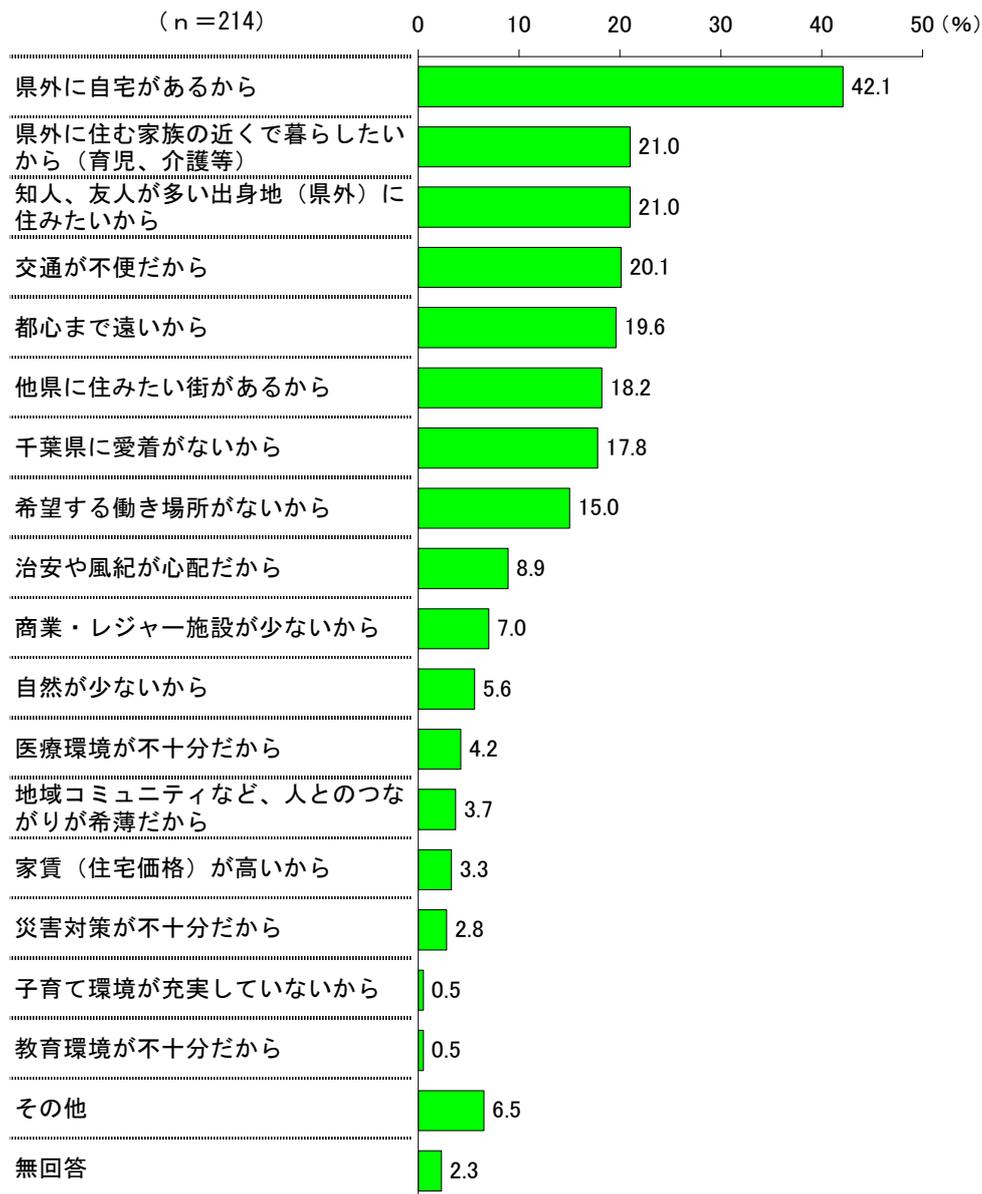
＜図表 千葉県を居住地に選ばない理由—高校生（性別）＞



② 大学生・短期大学生

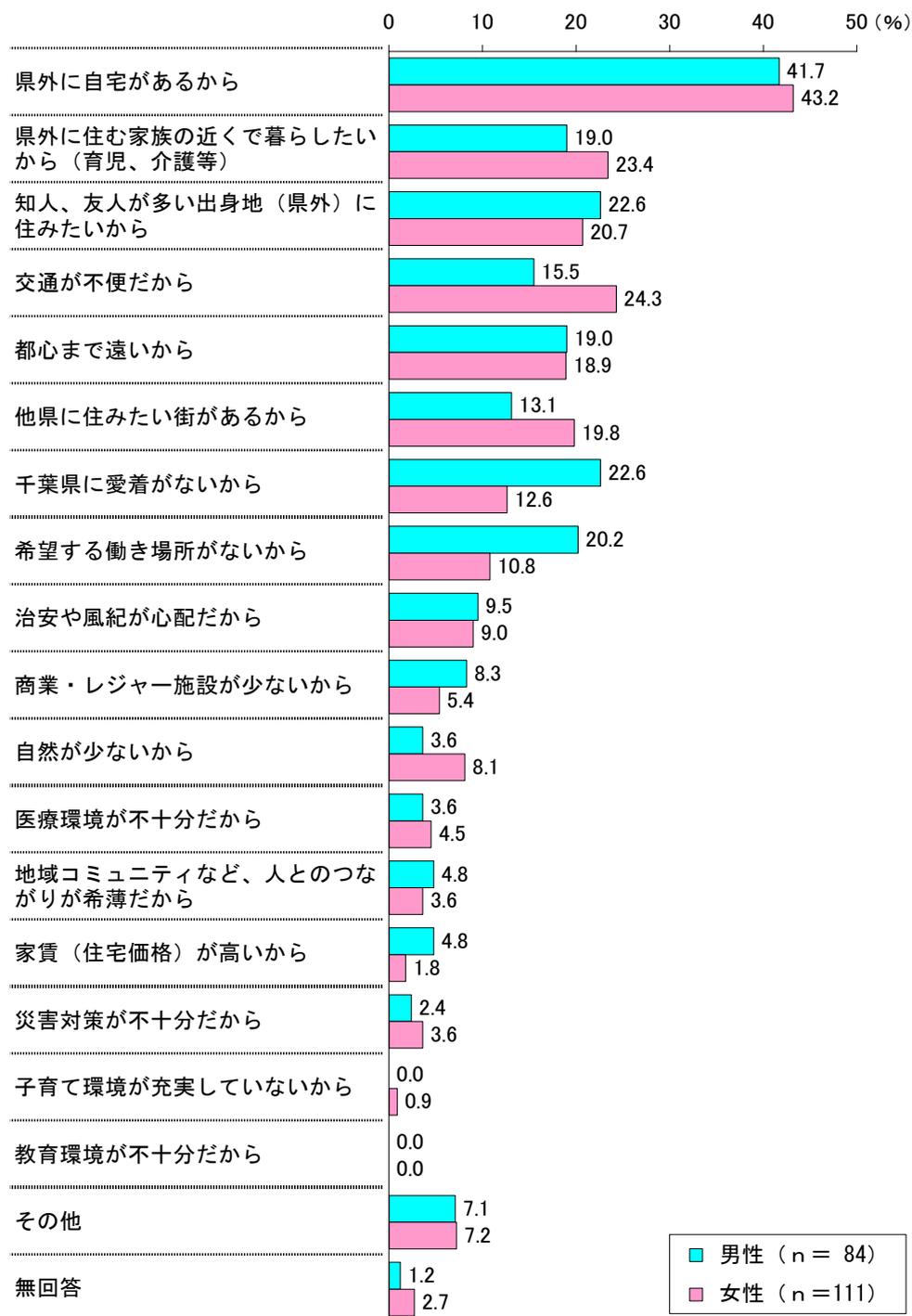
大学生・短期大学生の千葉県を居住地に選ばない理由は、「県外に自宅があるから」が42.1%で最も高く、次いで「県外に住む家族の近くで暮らしたいから（育児、介護等）」と「知人、友人が多い出身地（県外）に住みたいから」がともに21.0%、「交通が不便だから」が20.1%、「都心まで遠いから」が19.6%となっている。

＜図表 千葉県を居住地に選ばない理由－大学生・短期大学生＞



性別でみると、「千葉県に愛着がないから」では男性（22.6%）が女性（12.6%）より10.0ポイント、「希望する働き場所がないから」では男性（20.2%）が女性（10.8%）より9.4ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「交通が不便だから」では女性（24.3%）が男性（15.5%）より8.8ポイント、「他県に住みたい街があるから」では女性（19.8%）が男性（13.1%）より6.7ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 千葉県を居住地に選ばない理由—大学生・短期大学生（性別）>



4. 「居住地として選ばれる千葉」について

(1) 千葉県が居住地として選ばれるために重要なこと

問 千葉県が居住地（住む場所）として選ばれるために重要な点は、何だと思えますか。

(3つまで)

① 高校生

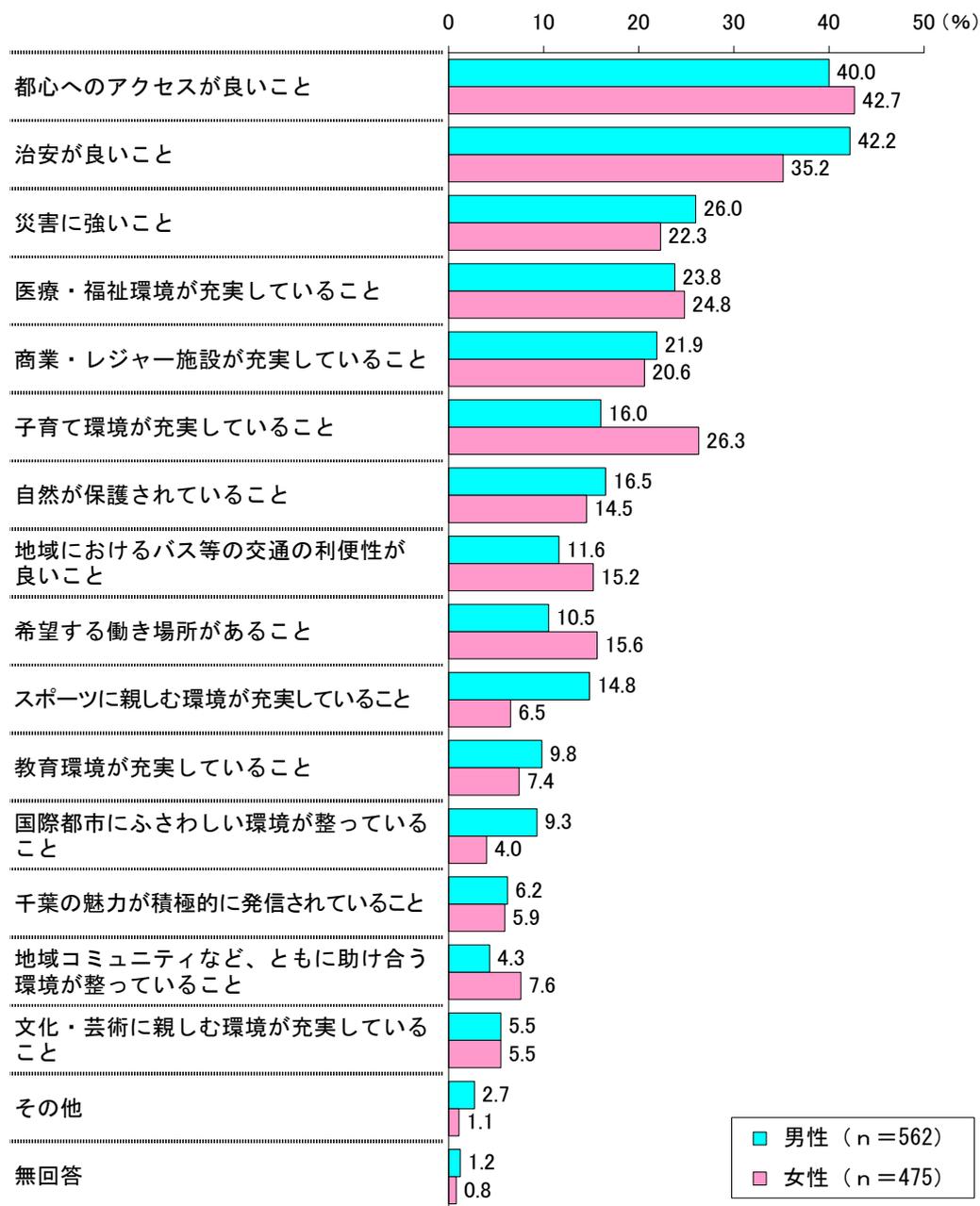
高校生の千葉県が居住地として選ばれるために重要なことは、「都心へのアクセスが良いこと」が41.1%で最も高く、次いで「治安が良いこと」が38.9%、「災害に強いこと」が24.3%、「医療・福祉環境が充実していること」が24.0%、「商業・レジャー施設が充実していること」が20.9%となっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために重要なこと－高校生>



性別でみると、「子育て環境が充実していること」では女性（26.3%）が男性（16.0%）より10.3ポイント、「希望する働き場所があること」では女性（15.6%）が男性（10.5%）より5.1ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「スポーツに親しむ環境が充実していること」では男性（14.8%）が女性（6.5%）より8.3ポイント、「治安が良いこと」では男性（42.2%）が女性（35.2%）より7.0ポイント、それぞれ高くなっている。

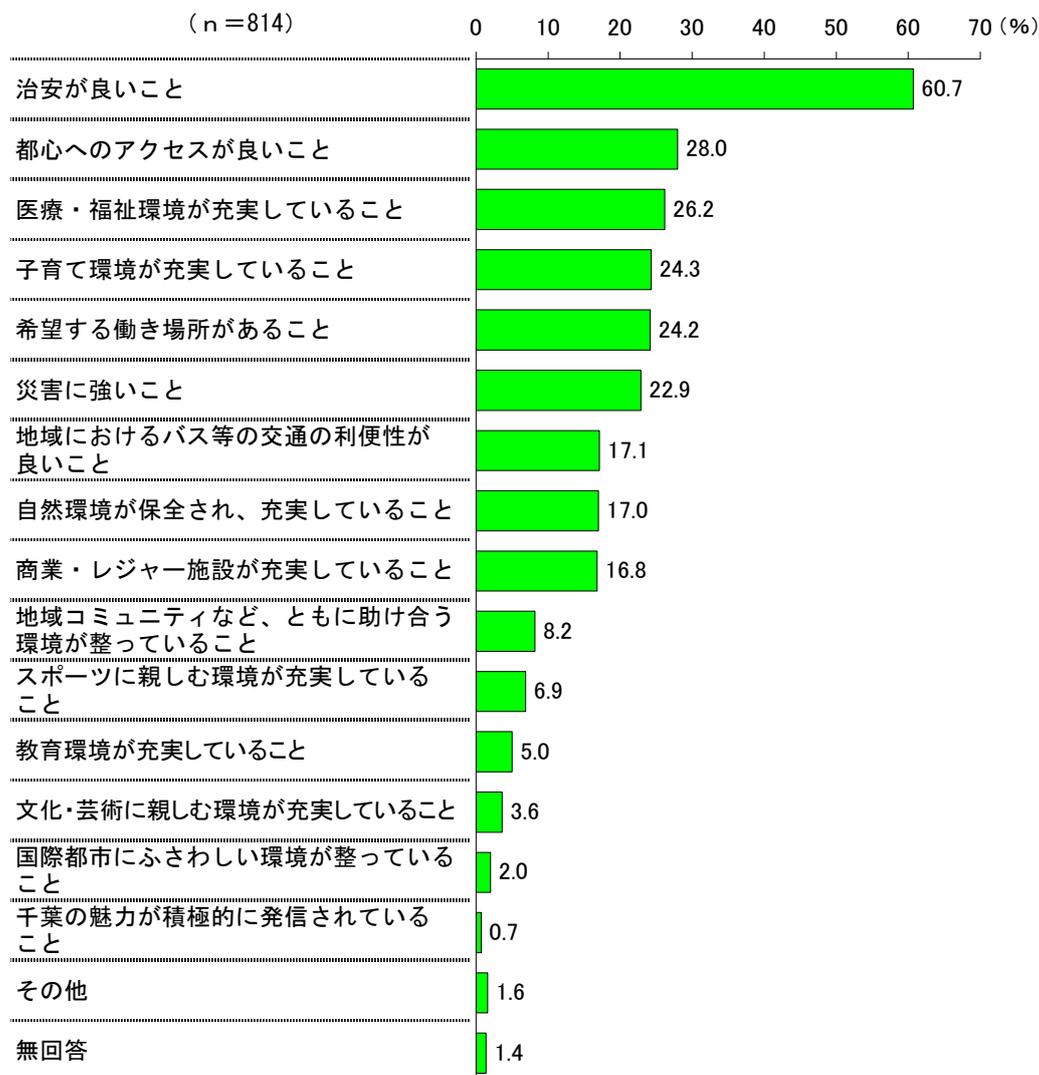
＜図表 千葉県が居住地として選ばれるために重要なこと－高校生（性別）＞



② 大学生・短期大学生

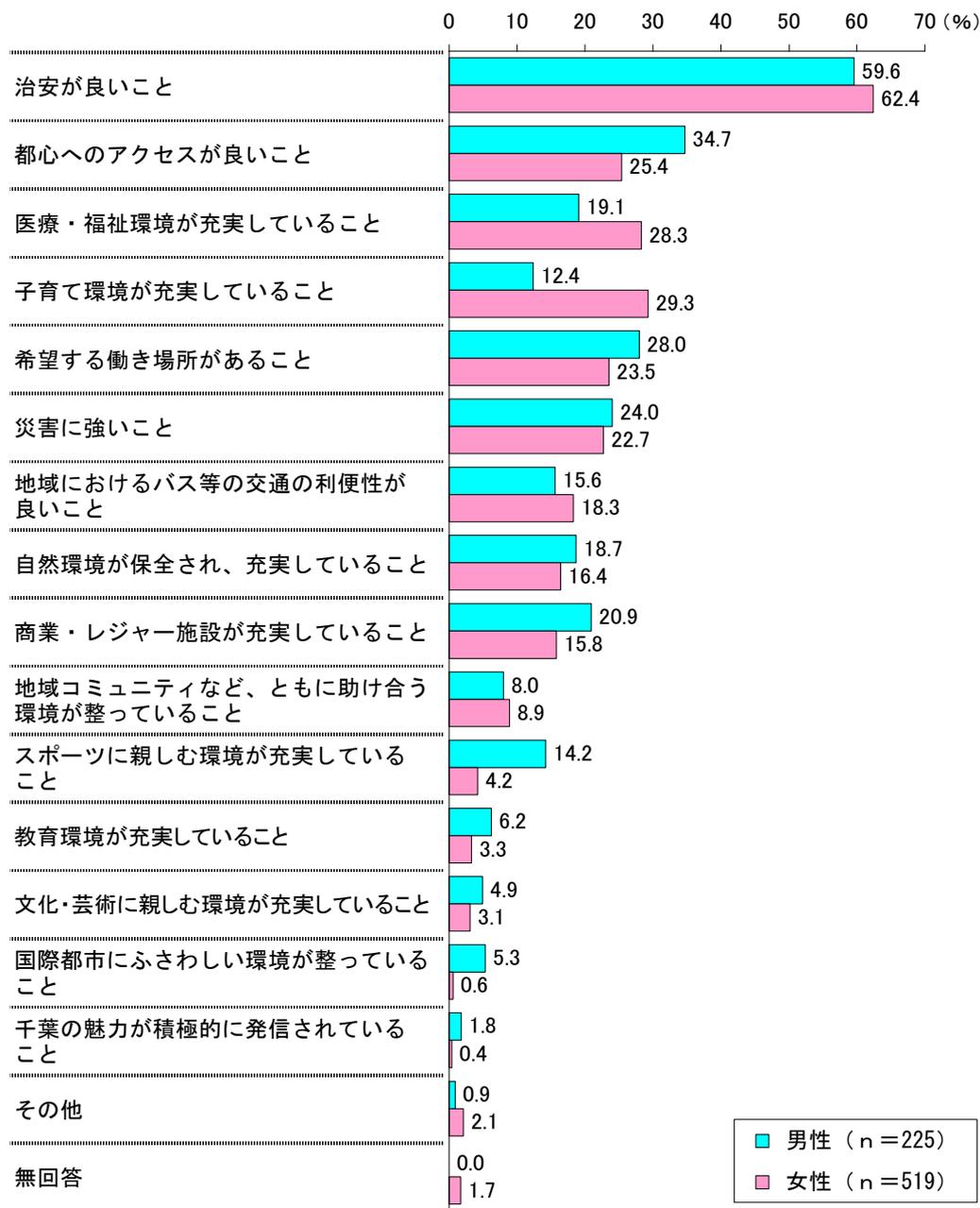
大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために重要なことは、「治安が良いこと」が60.7%で最も高く、次いで「都心へのアクセスが良いこと」が28.0%、「医療・福祉環境が充実していること」が26.2%、「子育て環境が充実していること」が24.3%、「希望する働き場所があること」が24.2%となっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために重要なこと－大学生・短期大学生>



性別でみると、「子育て環境が充実していること」では女性（29.3%）が男性（12.4%）より16.9ポイント、「医療・福祉環境が充実していること」では女性（28.3%）が男性（19.1%）より9.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「スポーツに親しむ環境が充実していること」では男性（14.2%）が女性（4.2%）より10.0ポイント、「都心へのアクセスが良いこと」では男性（34.7%）が女性（25.4%）より9.3ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために重要なことー大学生・短期大学生（性別）>



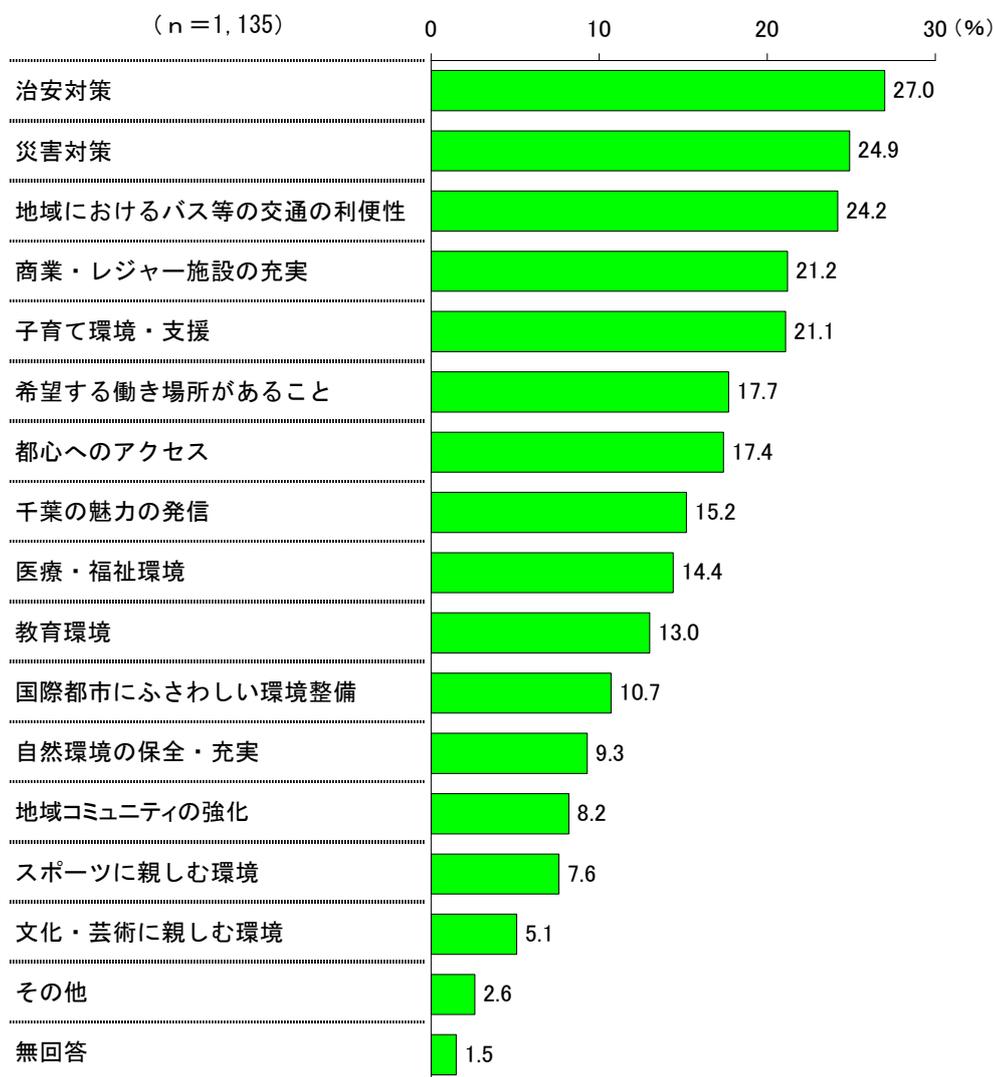
(2) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

問 千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要と思う点は、何だと思えますか。
(3つまで)

① 高校生

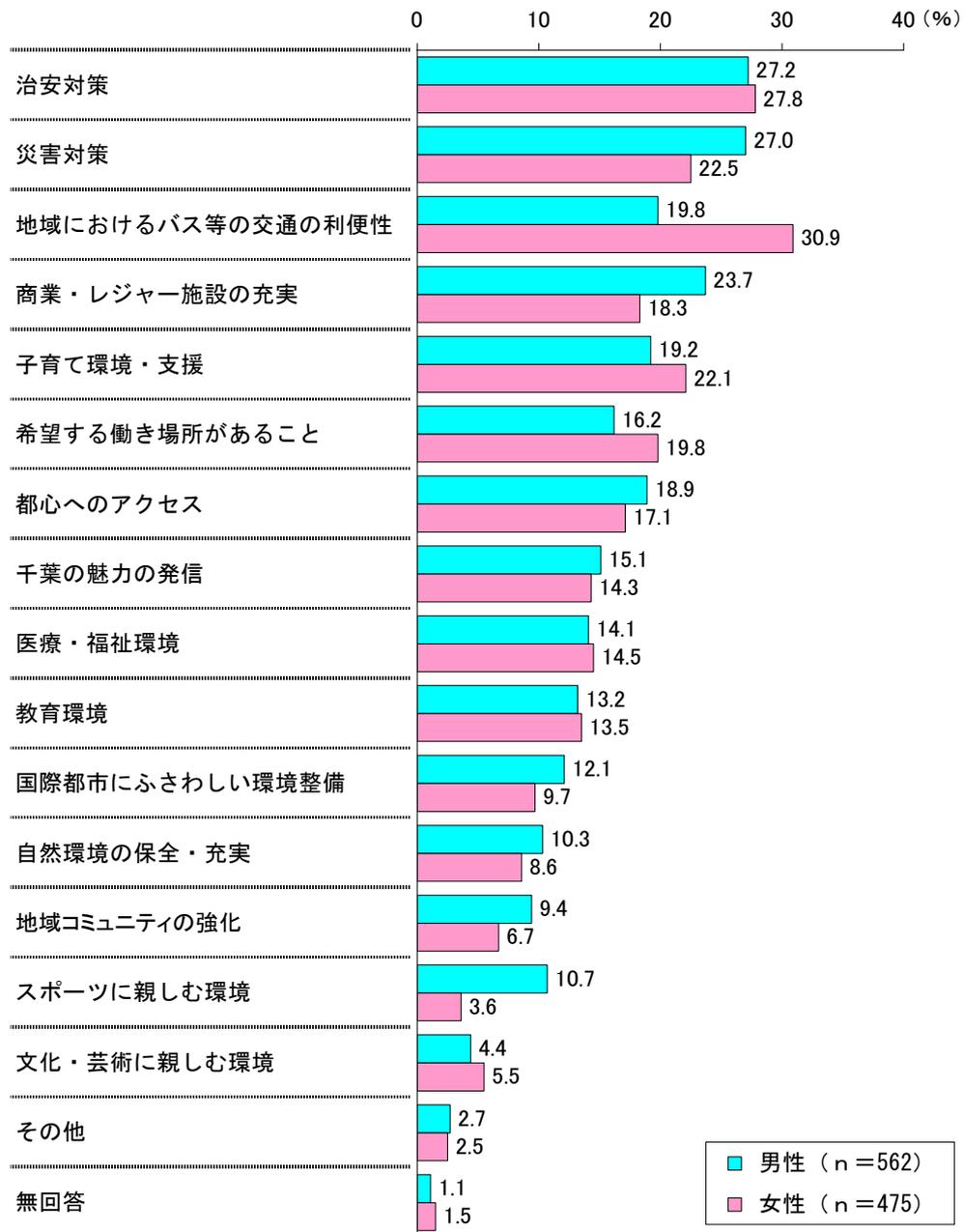
高校生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことは、「治安対策」が27.0%で最も高く、次いで「災害対策」が24.9%、「地域におけるバス等の交通の利便性」が24.2%、「商業・レジャー施設の充実」が21.2%、「子育て環境・支援」が21.1%となっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと－高校生>



性別で見ると、「地域におけるバス等の交通の利便性」では女性（30.9%）が男性（19.8%）より11.1ポイント、「希望する働き場所があること」では女性（19.8%）が男性（16.2%）より3.6ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「スポーツに親しむ環境」では男性（10.7%）が女性（3.6%）より7.1ポイント、「商業・レジャー施設の充実」では男性（23.7%）が女性（18.3%）より5.4ポイント、それぞれ高くなっている。

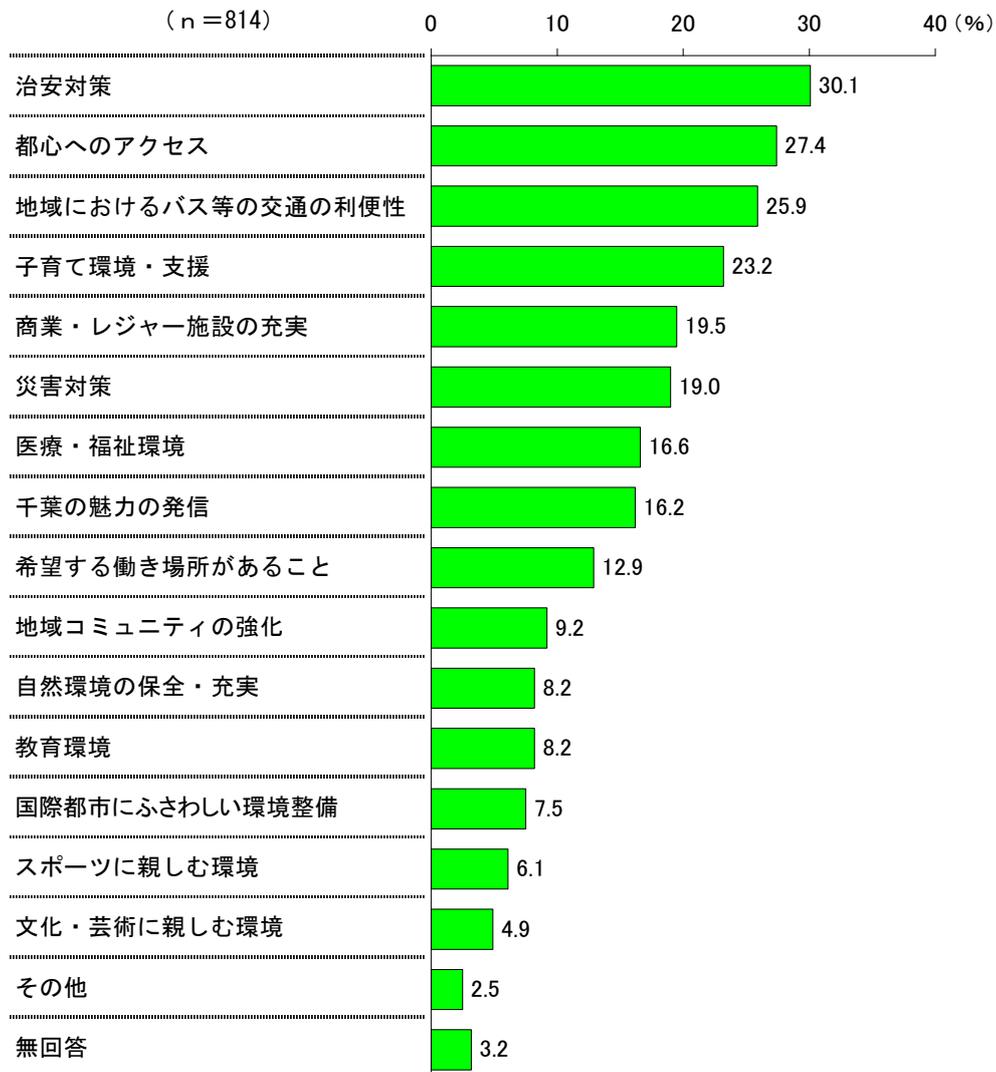
<図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと—高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

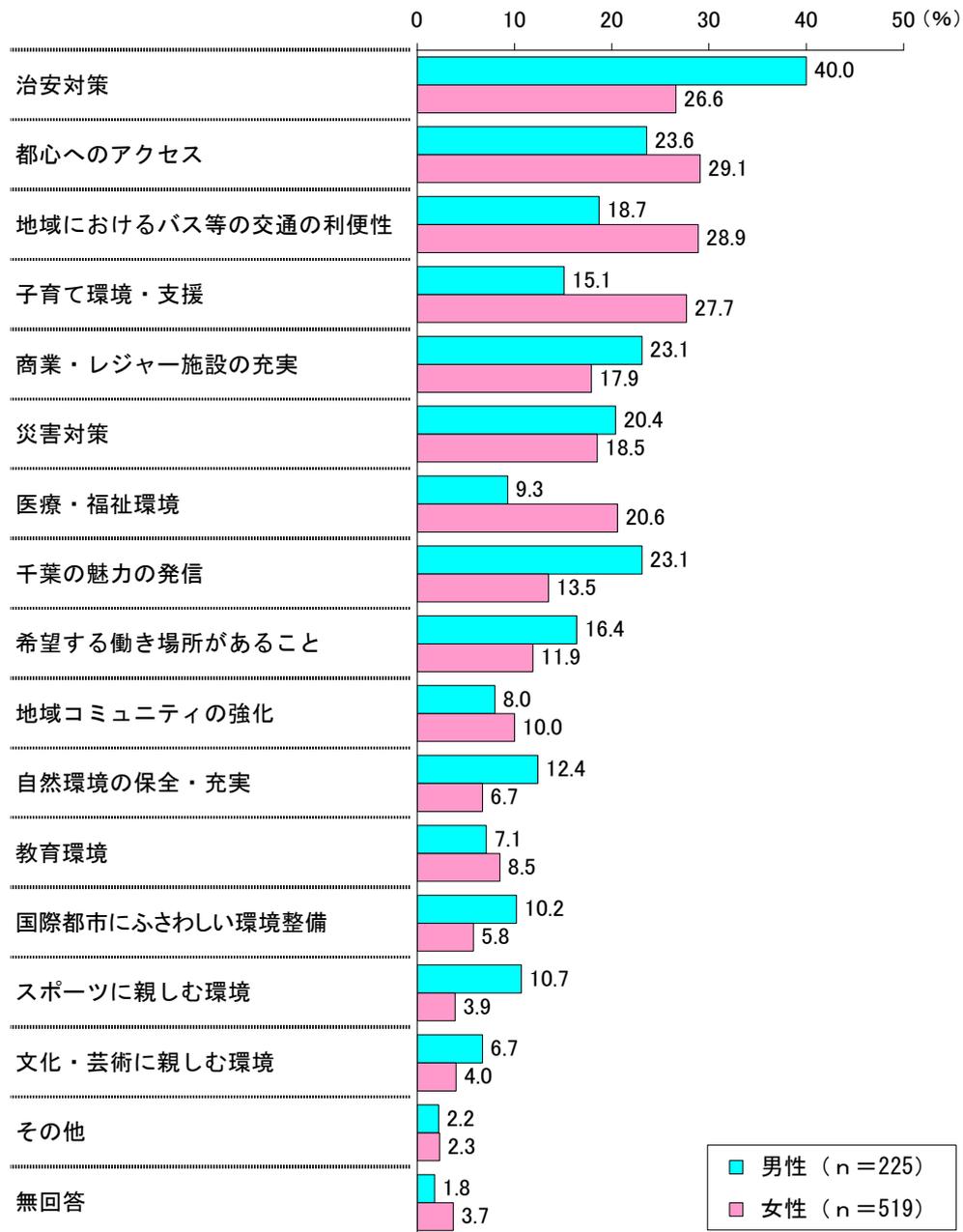
大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことは、「治安対策」が30.1%で最も高く、次いで「都心へのアクセス」が27.4%、「地域におけるバス等の交通の利便性」が25.9%、「子育て環境・支援」が23.2%、「商業・レジャー施設の充実」が19.5%となっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと—大学生・短期大学生>



性別でみると、「治安対策」では男性（40.0%）が女性（26.6%）より 13.4 ポイント、「千葉の魅力の発信」では男性（23.1%）が女性（13.5%）より 9.6 ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「子育て環境・支援」では女性（27.7%）が男性（15.1%）より 12.6 ポイント、「医療・福祉環境」では女性（20.6%）が男性（9.3%）より 11.3 ポイント、「地域におけるバス等の交通の利便性」では女性（28.9%）が男性（18.7%）より 10.2 ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なことー大学生・短期大学生（性別）>



5. 結婚・子育てなどについて

(1) 「晩婚」や「未婚」が増えている理由

問 「晩婚」や「未婚」が増えている理由として考えられるものは何だと思えますか。(複数可)

① 高校生

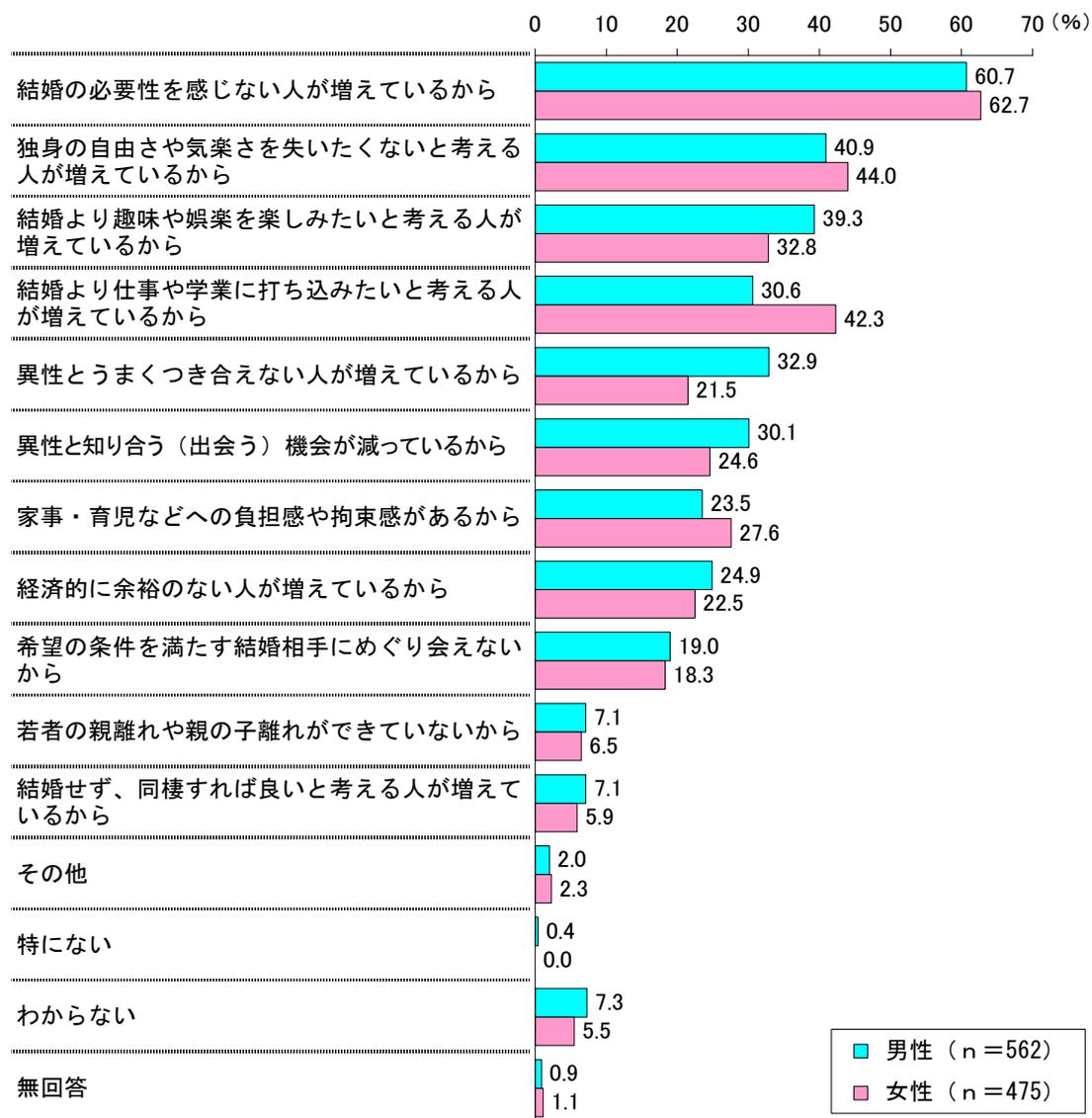
高校生の「晩婚」や「未婚」が増えている理由として考えられるものについては、「結婚の必要性を感じない人が増えているから」が61.8%で最も高く、次いで「独身の自由さや気楽さを失いたくないと考える人が増えているから」が42.0%、「結婚より趣味や娯楽を楽しみたいと考える人が増えているから」が36.5%、「結婚より仕事や学業に打ち込みたいと考える人が増えているから」が35.7%、「異性とうまくつき合えない人が増えているから」が27.4%となっている。

<図表 「晩婚」や「未婚」が増えている理由－高校生>



性別でみると、「結婚より仕事や学業に打ち込みたいと考える人が増えているから」では女性（42.3%）が男性（30.6%）より 11.7 ポイント、「家事・育児などへの負担感や拘束感があるから」では女性（27.6%）が男性（23.5%）より 4.1 ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「異性とうまくつき合えない人が増えているから」では男性（32.9%）が女性（21.5%）より 11.4 ポイント、「結婚より趣味や娯楽を楽しみたいと考える人が増えているから」では男性（39.3%）が女性（32.8%）より 6.5 ポイント、それぞれ高くなっている。

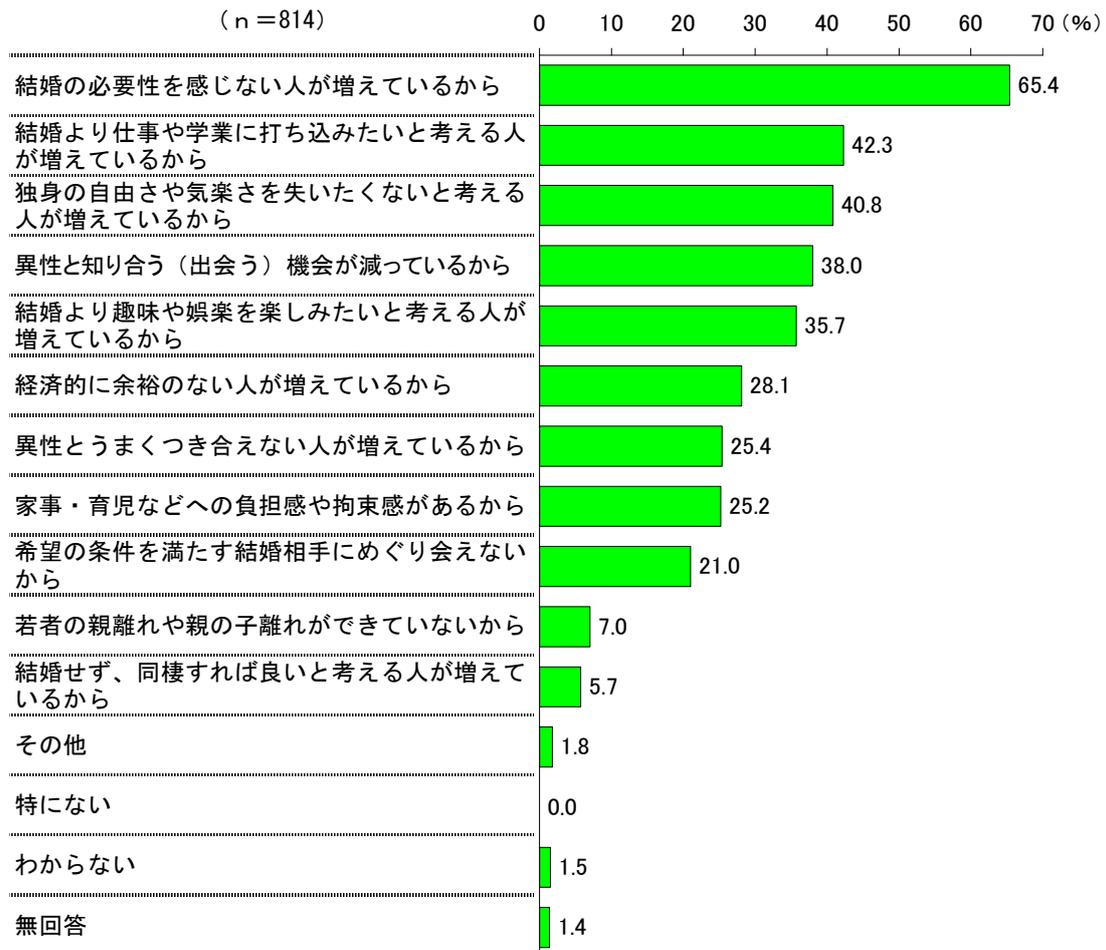
<図表 「晩婚」や「未婚」が増えている理由—高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

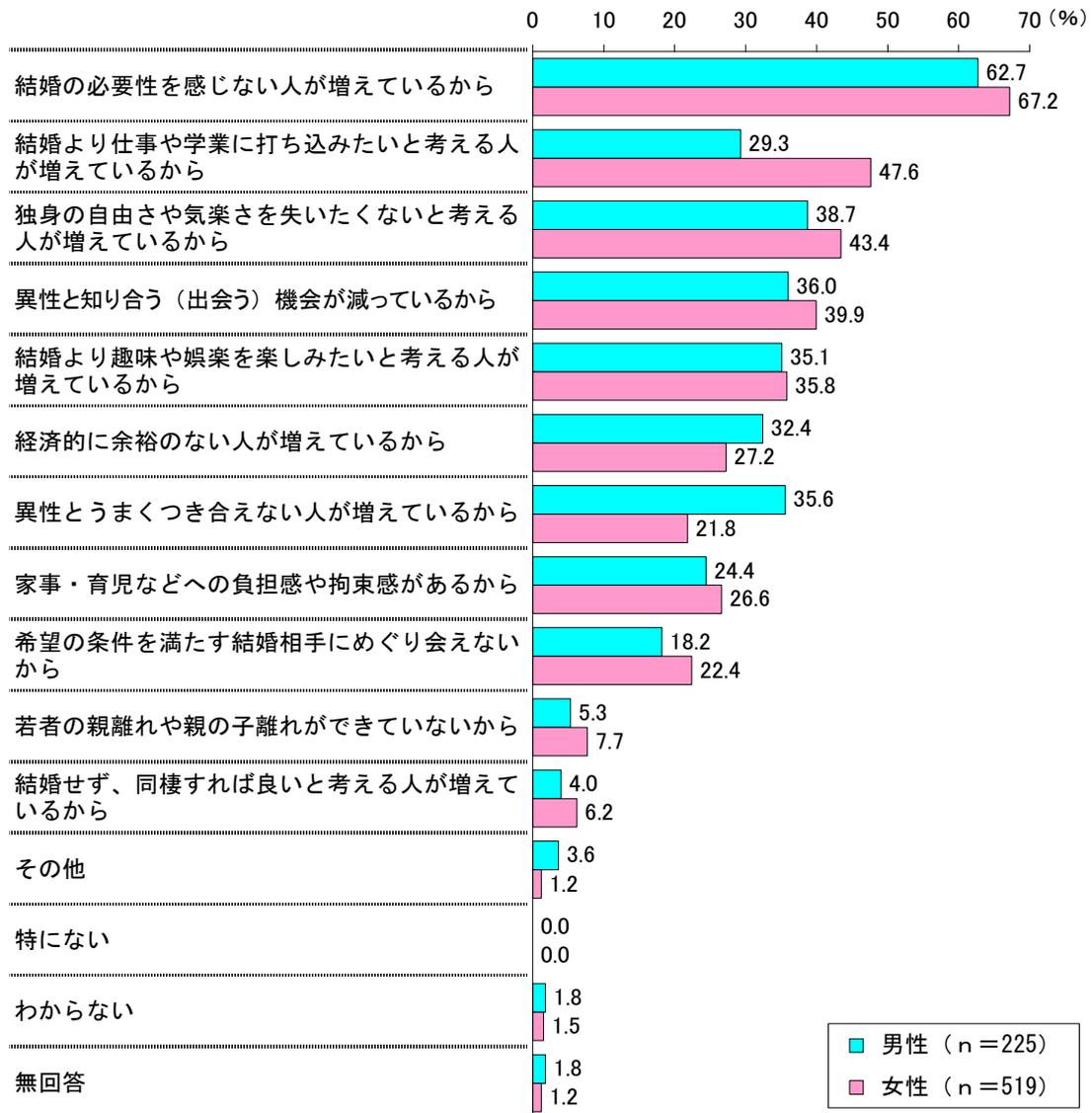
大学生・短期大学生の「晩婚」や「未婚」が増えている理由として考えられるものについては、「結婚の必要性を感じない人が増えているから」が65.4%で最も高く、次いで「結婚より仕事や学業に打ち込みたいと考える人が増えているから」が42.3%、「独身の自由さや気楽さを失いたくないと考える人が増えているから」が40.8%、「異性と知り合う（出会う）機会が減っているから」が38.0%、「結婚より趣味や娯楽を楽しみたいと考える人が増えているから」が35.7%となっている。

<図表 「晩婚」や「未婚」が増えている理由－大学生・短期大学生>



性別でみると、「結婚より仕事や学業に打ち込みたいと考える人が増えているから」では女性（47.6%）が男性（29.3%）より18.3ポイント、「独身の自由さや気楽さを失いたくないと考える人が増えているから」では女性（43.4%）が男性（38.7%）より4.7ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「異性とうまくつき合えない人が増えているから」では男性（35.6%）が女性（21.8%）より13.8ポイント、「経済的に余裕のない人が増えているから」では男性（32.4%）が女性（27.2%）より5.2ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 「晩婚」や「未婚」が増えている理由—大学生・短期大学生（性別）>



(2) 子どもを持つために必要だと思う条件

問 子どもを持つとうと考えた場合、どのような条件がそろえばいいと考えますか。(3つまで)

① 高校生

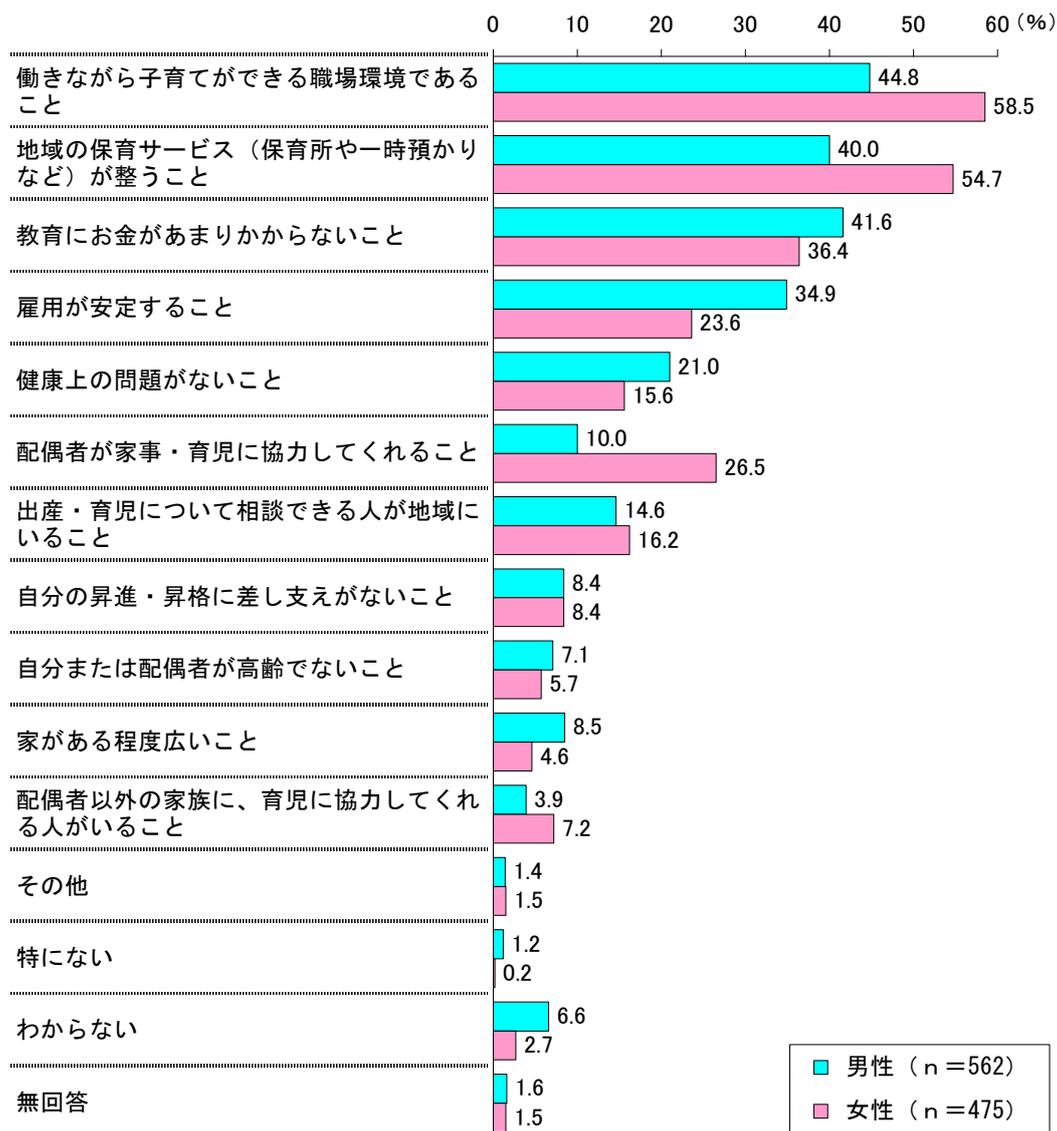
高校生の子どもを持つために必要だと思う条件は、「働きながら子育てができる職場環境であること」が50.5%で最も高く、次いで「地域の保育サービス（保育所や一時預かりなど）が整うこと」が46.2%、「教育にお金がかかりすぎないこと」が39.0%、「雇用が安定すること」が30.3%、「健康上の問題がないこと」が18.8%となっている。

<図表 子どもを持つために必要だと思う条件－高校生>



性別でみると、「配偶者が家事・育児に協力してくれること」では女性（26.5%）が男性（10.0%）より16.5ポイント、「地域の保育サービス（保育所や一時預かりなど）が整うこと」では女性（54.7%）が男性（40.0%）より14.7ポイント、「働きながら子育てができる職場環境であること」では女性（58.5%）が男性（44.8%）より13.7ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「雇用が安定すること」では男性（34.9%）が女性（23.6%）より11.3ポイント、「健康上の問題がないこと」では男性（21.0%）が女性（15.6%）より5.4ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 子どもを持つために必要だと思う条件—高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

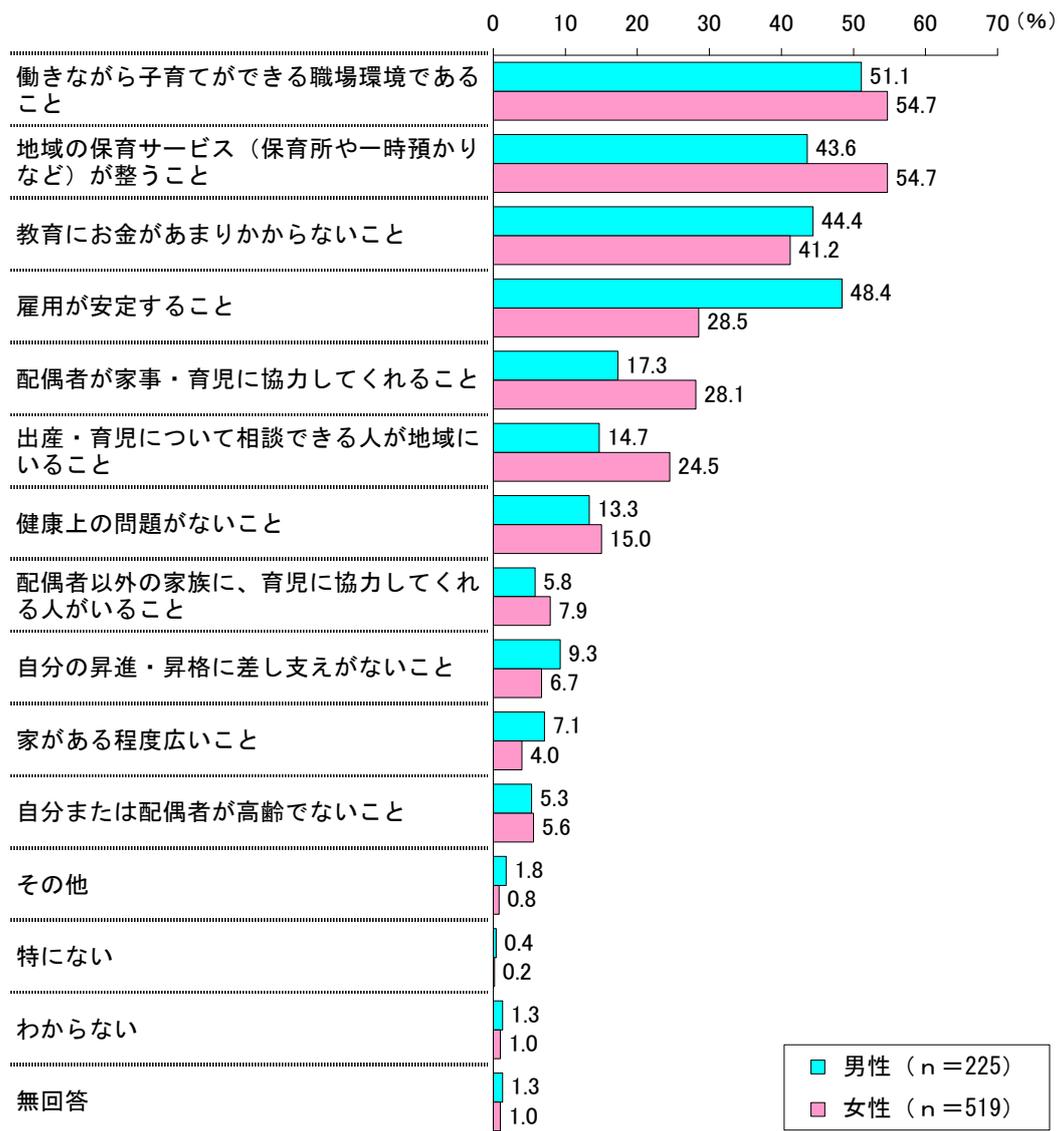
大学生・短期大学生の子どもを持つために必要だと思う条件は、「働きながら子育てができる職場環境であること」が52.1%で最も高く、次いで「地域の保育サービス（保育所や一時預かりなど）が整うこと」が50.6%、「教育にお金がかからないこと」が42.1%、「雇用が安定すること」が34.2%、「配偶者が家事・育児に協力してくれること」が24.3%となっている。

<図表 子どもを持つために必要だと思う条件—大学生・短期大学生>



性別でみると、「雇用が安定すること」では男性（48.4%）が女性（28.5%）より 19.9 ポイント、「教育にお金がかかりすぎること」では男性（44.4%）が女性（41.2%）より 3.2 ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「地域の保育サービス（保育所や一時預かりなど）が整うこと」では女性（54.7%）が男性（43.6%）より 11.1 ポイント、「配偶者が家事・育児に協力してくれること」では女性（28.1%）が男性（17.3%）より 10.8 ポイント、「出産・育児について相談できる人が地域にいること」では女性（24.5%）が男性（14.7%）より 9.8 ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 子どもを持つために必要だと思う条件—大学生・短期大学生（性別）>

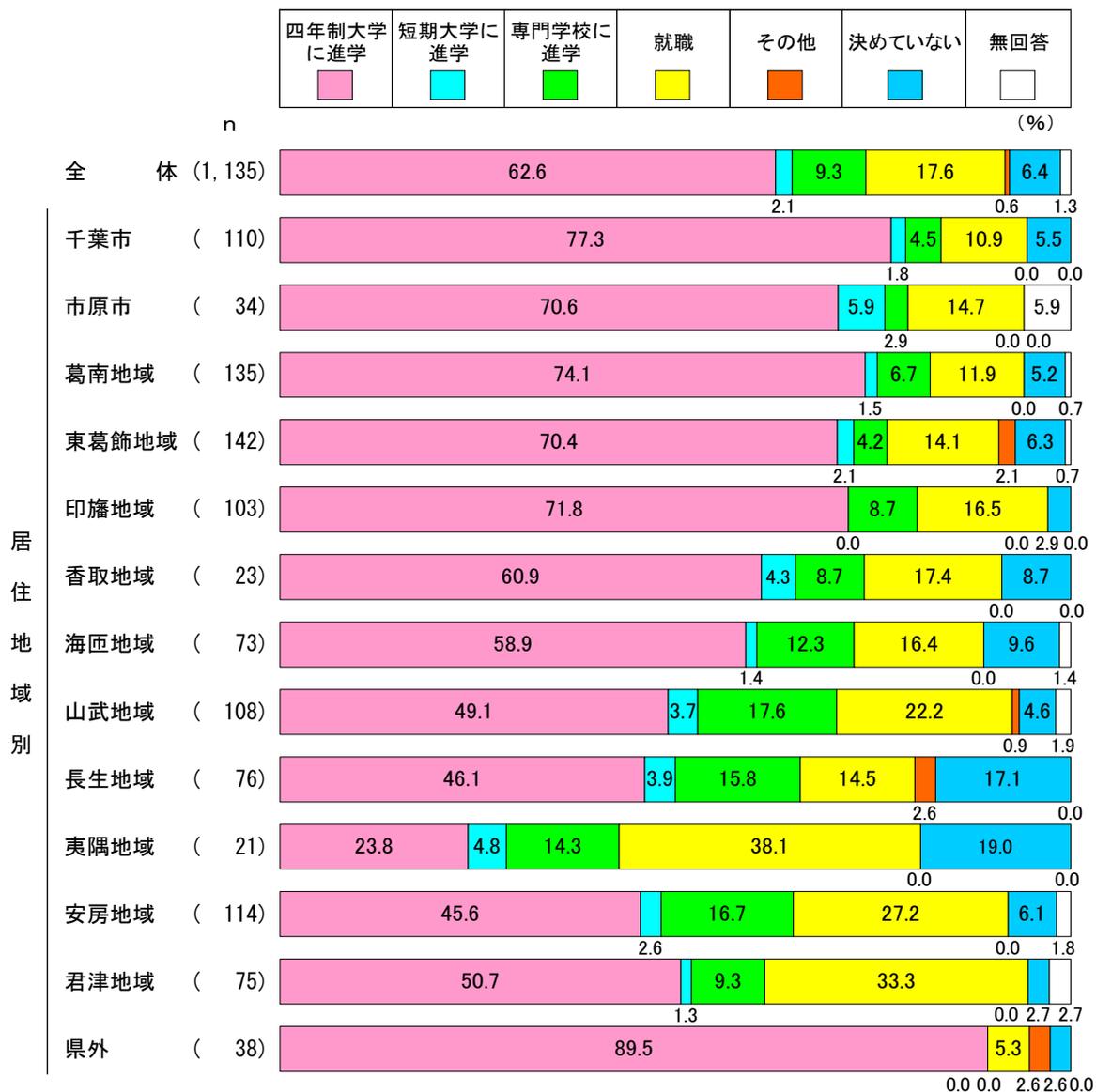


6. 居住地域・出身地域別分析

(1) 高校生の高校卒業後の進路に関する現在の希望

高校生の高校卒業後の進路に関する現在の希望を居住地域別でみると、「四年制大学に進学」は県外で 89.5%、千葉市で 77.3%、葛南地域で 74.1%、印旛地域で 71.8%と高くなっている。「専門学校に進学」は山武地域で 17.6%、安房地域で 16.7%、長生地域で 15.8%と高くなっている。「就職」は夷隅地域で 38.1%、君津地域で 33.3%、安房地域で 27.2%と高くなっている。

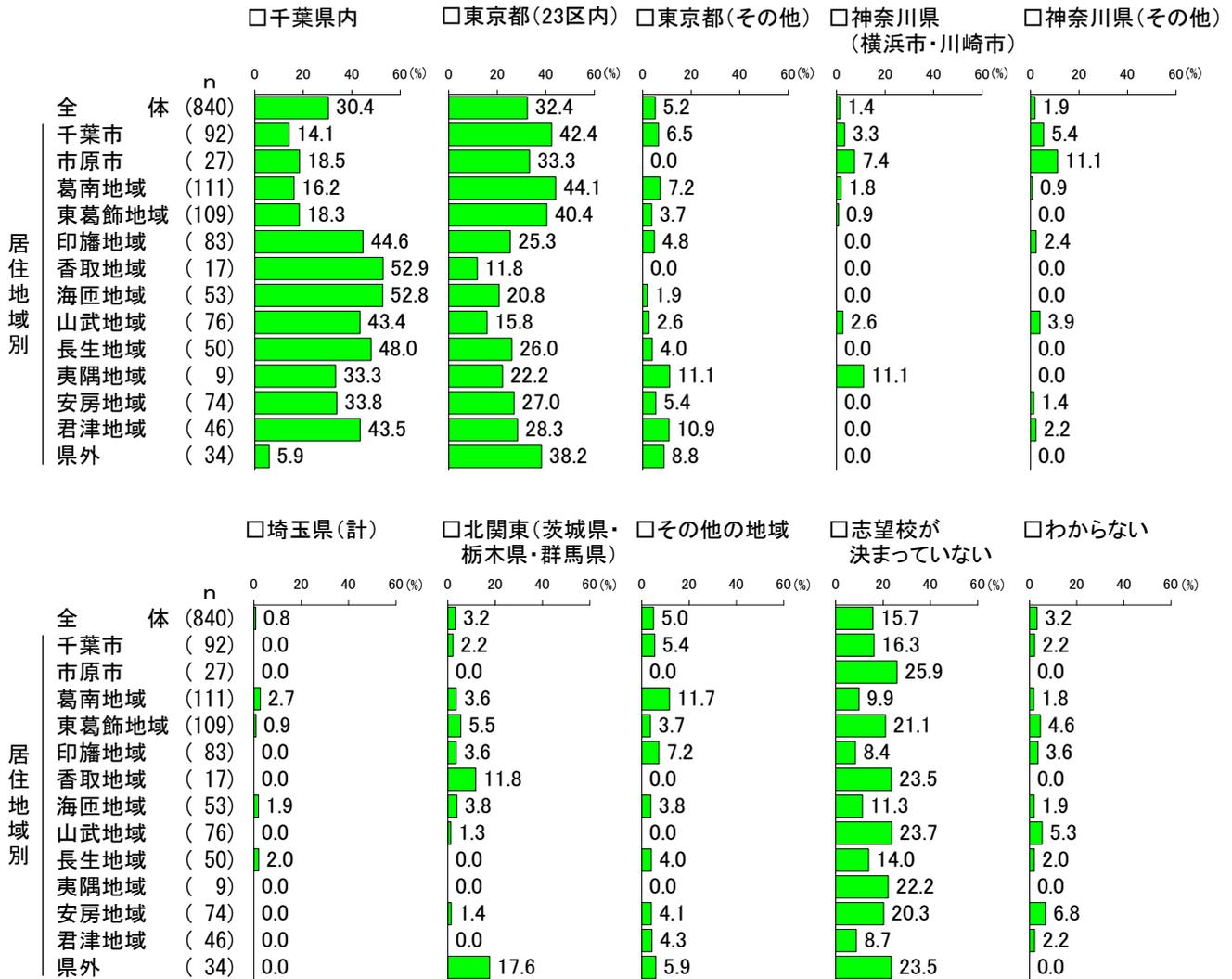
<図表 高校卒業後の進路に関する現在の希望－高校生（居住地域別）>



(2) 高校生の第一志望の学校の所在地

高校生の第一志望の学校の所在地を居住地域別で見ると、「千葉県内」は香取地域で 52.9%、海
 匝地域で 52.8%と高くなっている。「東京都(23区内)」は葛南地域で 44.1%、千葉市で 42.4%、
 東葛飾地域で 40.4%と高くなっている。「北関東(茨城県・栃木県・群馬県)」は県外で 17.6%と
 高くなっている。また、「志望校が決まっていない」は市原市で 25.9%と高くなっている。

＜図表 第一志望の学校の所在地－高校生（居住地域別）＞



(3) 高校生の就職を希望している職種

高校生の就職を希望している職種を居住地域別でみると、「官公庁・団体」は千葉市、葛南地域、長生地域、君津地域の4地域で同率を含め第1位となっている。「教育」は市原市、香取地域、長生地域、夷隅地域の4地域で同率を含め第1位となっている。「医療・福祉」は東葛飾地域、印旛地域、県外の3地域で第1位、「情報通信業」は海匝地域、山武地域の2地域で第1位となっている。

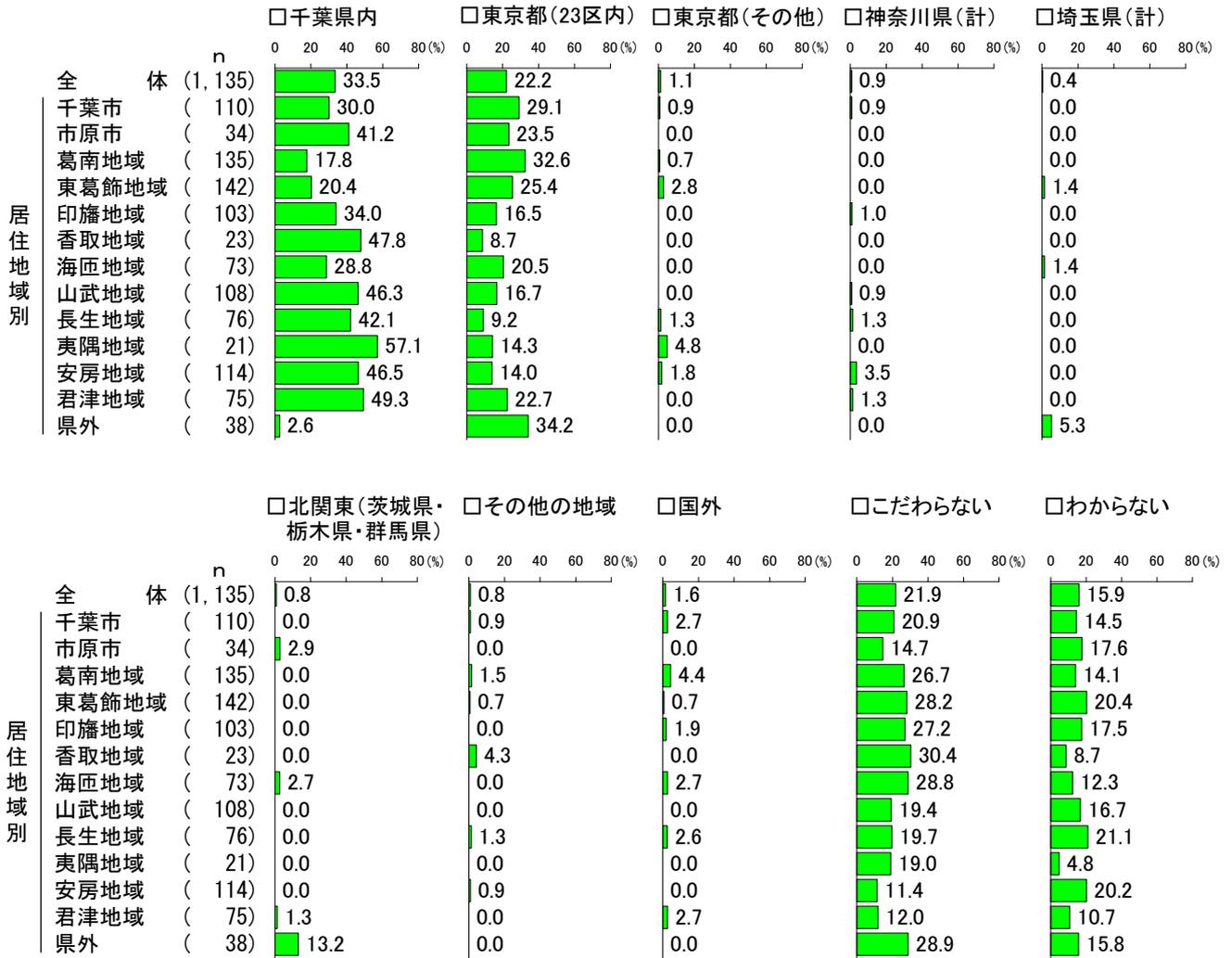
<図表 就職を希望している職種－高校生（居住地域別・上位5職種）>

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体		1,135	医療・福祉 (12.3)	官公庁・団体 (9.4)	教育 (7.9)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (7.0)	飲食・販売業 (6.4)
居住 地域 別	千葉市	110	官公庁・団体 (12.7)	医療・福祉 (8.2)	教育 (7.3)	情報通信業/ 金融・保険業/飲食・販売業 (5.5)	
	市原市	34	教育 (20.6)	医療・福祉 (14.7)	官公庁・団体 (11.8)	旅行・観光・宿泊業/飲食・販売業 (5.9)	
	葛南地域	135	官公庁・団体/建設業 (12.6)		学術研究、専門・ 技術サービス業 (8.1)	教育 (5.9)	旅行・観光・宿泊業/ 医療・福祉 (5.2)
	東葛飾地域	142	医療・福祉 (12.7)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (9.9)	飲食・販売業 (8.5)	旅行・観光・ 宿泊業 (6.3)	教育 (5.6)
	印旛地域	103	医療・福祉 (16.5)	教育 (9.7)	官公庁・団体 (8.7)	飲食・販売業 (6.8)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (5.8)
	香取地域	23	教育 (21.7)	医療・福祉 (17.4)	建設業/製造業 (8.7)		官公庁・団体/運輸業/ 学術研究、専門・技術 サービス業 (4.3)
	海匝地域	73	情報通信業 (12.3)	学術研究、専門・技術サービス業 /医療・福祉 (11.0)		官公庁・団体 (9.6)	教育 (6.8)
	山武地域	108	情報通信業 (13.9)	医療・福祉 (11.1)	官公庁・団体 (8.3)	製造業/金融・保険業 (5.6)	
	長生地域	76	官公庁・団体/教育 (14.5)		旅行・観光・ 宿泊業 (7.9)	学術研究、専門・技術サービス業 /医療・福祉 (6.6)	
	夷隅地域	21	金融・保険業/教育 (14.3)		官公庁・団体/医療・福祉 (9.5)		建設業/情報通信業/学術 研究、専門・技術サービス 業/飲食・販売業/商社 (4.8)
	安房地域	114	飲食・販売業 (21.9)	医療・福祉 (20.2)	官公庁・団体/ 学術研究、専門・技術サービス業 (7.0)		教育 (6.1)
	君津地域	75	官公庁・団体/旅行・観光・宿泊業 (12.0)		学術研究、専門・技術サービス業 /医療・福祉/教育 (9.3)		
	県外	38	医療・福祉 (28.9)	情報通信業 (10.5)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (7.9)	官公庁・団体/金融・保険業/教育 (5.3)	

(4) 高校生の将来希望する勤務地

高校生の将来希望する勤務地を居住地域別で見ると、「千葉県内」は夷隅地域で57.1%、君津地域で49.3%と高くなっている。「東京都(23区内)」は県外で34.2%、葛南地域で32.6%と高くなっている。また、「こだわらない」は香取地域で30.4%と高くなっている。

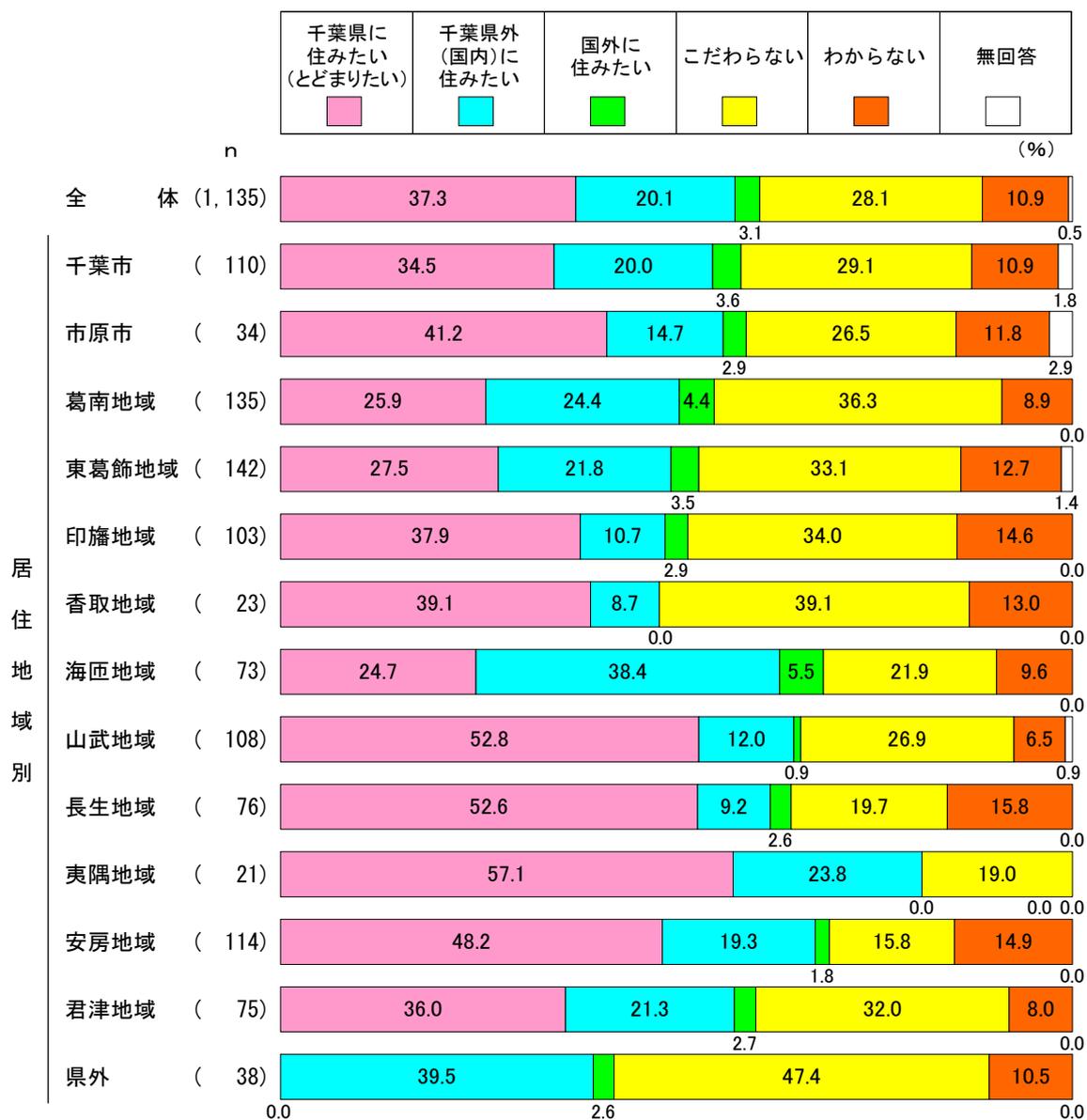
<図表 将来希望する勤務地—高校生(居住地域別)>



(5) 高校生の就職後の居住地の希望

高校生の就職後の居住地の希望を居住地域別でみると、「千葉県に住みたい（とどまりたい）」は夷隅地域で57.1%、山武地域で52.8%、長生地域で52.6%と高くなっている。「千葉県外（国内）に住みたい」は県外で39.5%、海匝地域で38.4%、葛南地域で24.4%と高くなっている。また、「こだわらない」は県外で47.4%、香取地域で39.1%、葛南地域で36.3%と高くなっている。

<図表 就職後の居住地の希望－高校生（居住地域別）>



(6) 大学生・短期大学生の就職を希望している職種

大学生・短期大学生の就職を希望している職種を出身地域別でみると、「教育」は千葉市、市原市、葛南地域などの15地域で同率を含め第1位となっている。「医療・福祉」は東葛飾地域、山武地域、東京都などの10地域で同率を含め第1位となっている。「官公庁・団体」は東葛飾地域、埼玉県、近畿の3地域で同率を含め第1位、「農林水産業」は神奈川県、近畿の2地域で同率を含め第1位となっている。

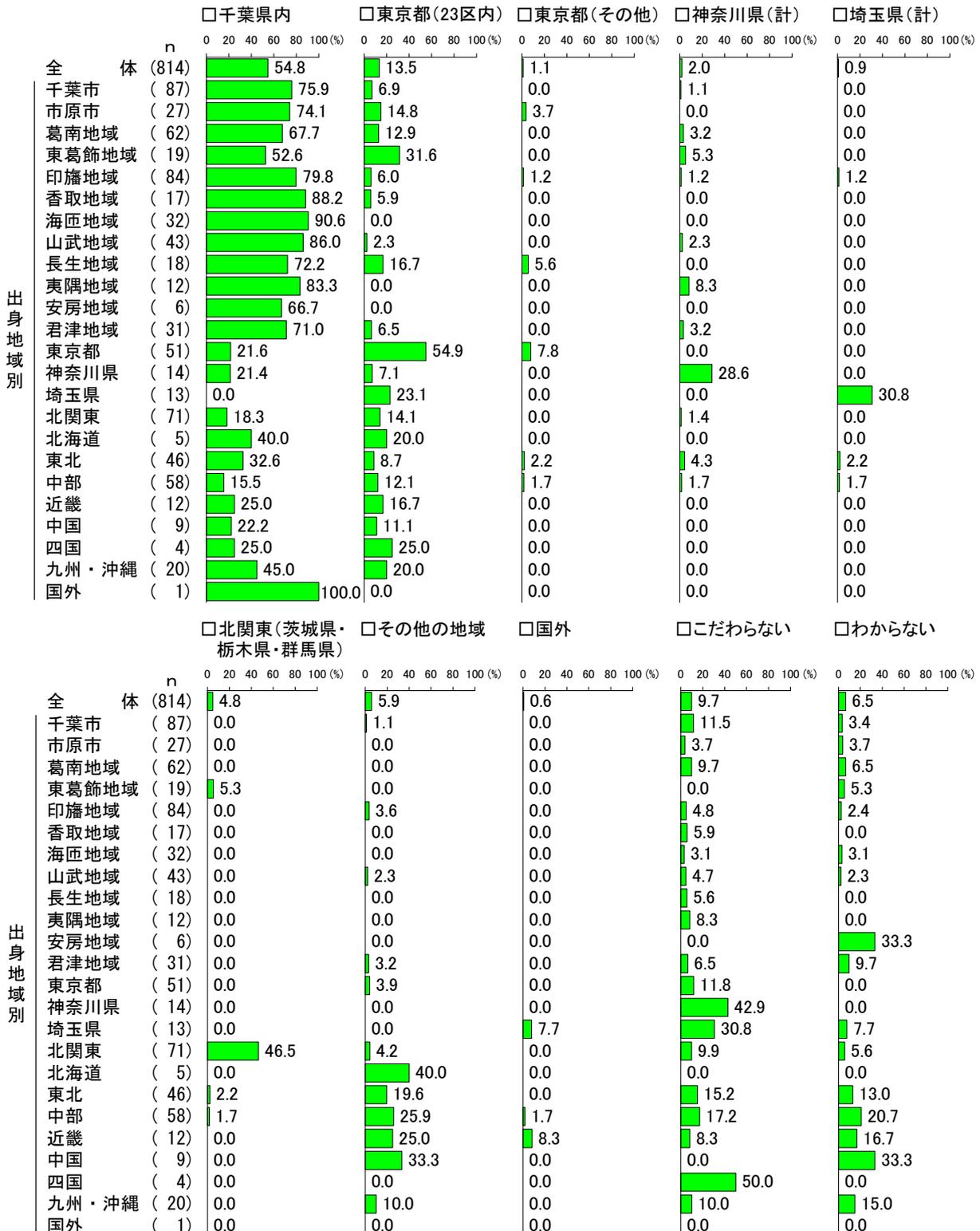
<図表 就職を希望している職種—大学生・短期大学生（出身地域別・上位5職種）>

		(%)				
	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体	814	教育 (34.8)	医療・福祉 (28.4)	官公庁・団体 (6.0)	建設業 (4.4)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (3.6)
出身 地域 別	千葉市	教育 (49.4)	医療・福祉 (26.4)	官公庁・団体 (3.4)	農林水産業/建設業/製造業/情報通信業/ 学術研究、専門・技術サービス業 /旅行・観光・宿泊業/飲食・販売業 (1.1)	
	市原市	教育 (33.3)	医療・福祉 (18.5)	官公庁・団体/製造業/情報通信業 (7.4)		
	葛南地域	教育 (38.7)	医療・福祉 (19.4)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (6.5)	官公庁・団体/農林水産業 /製造業/情報通信業 (4.8)	
	東葛飾地域	官公庁・団体/医療・福祉/教育 (21.1)			学術研究、専門・ 技術サービス業 (15.8)	情報通信業 (10.5)
	印旛地域	教育 (56.0)	医療・福祉 (20.2)	農林水産業/飲食・販売業 (3.6)		建設業 (2.4)
	香取地域	教育 (52.9)	医療・福祉 (29.4)	金融・保険業/ 学術研究、専門・技術サービス業 (5.9)		
	海匝地域	教育 (50.0)	医療・福祉 (31.3)	情報通信業/運輸業 (6.3)		不動産業 (3.1)
	山武地域	医療・福祉 (53.5)	教育 (25.6)	飲食・販売業 (7.0)	官公庁・団体 (4.7)	運輸業 (2.3)
	長生地域	教育 (55.6)	建設業/医療・福祉 (16.7)		官公庁・団体/ 学術研究、専門・技術サービス業 (5.6)	
	夷隅地域	教育 (58.3)	医療・福祉 (16.7)	官公庁・団体/農林水産業 (8.3)		
	安房地域	教育 (50.0)	医療・福祉 (33.3)	官公庁・団体 (16.7)		
	君津地域	教育 (64.5)	医療・福祉 (16.1)	建設業/製造業/情報通信業/ 学術研究、専門・技術サービス業 (3.2)		
	東京都	医療・福祉 (25.5)	教育 (15.7)	官公庁・団体/農林水産業/建設業 (7.8)		
	神奈川県	農林水産業/建設業/医療・福祉/教育 (14.3)				官公庁・団体/運輸業/ 旅行・観光・宿泊業 (7.1)
	埼玉県	官公庁・団体 (23.1)	農林水産業/建設業/医療・福祉 (15.4)			教育/マスコミ・ 出版・印刷 (7.7)
	北関東	教育 (36.6)	医療・福祉 (29.6)	官公庁・団体/建設業 (4.2)		農林水産業/金融・保険業/ 学術研究、専門・技術 サービス業/飲食・販売業 (2.8)
	北海道	医療・福祉 (60.0)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (20.0)			
	東北	医療・福祉 (41.3)	官公庁・団体 (15.2)	建設業 (10.9)	学術研究、専門・技術サービス業 /教育 (6.5)	
	中部	医療・福祉 (32.8)	官公庁・団体/建設業 (13.8)		製造業 (8.6)	教育 (6.9)
	近畿	官公庁・団体/農林水産業/運輸業 /学術研究、専門・技術サービス業 (16.7)				商社/医療・福祉/教育/ マスコミ・出版・印刷 (8.3)
中国	医療・福祉/教育 (22.2)		建設業/運輸業/学術研究、専門・技術サービス業 (11.1)			
四国	医療・福祉 (50.0)	官公庁・団体 /学術研究、専門・技術サービス業 (25.0)				
九州・沖縄	医療・福祉 (35.0)	教育 (25.0)	官公庁・団体 (10.0)	建設業/情報通信業/学術研究、専門・ 技術サービス業/マスコミ・出版・印刷 (5.0)		
国外	教育 (100.0)					

(7) 大学生・短期大学生の将来希望する勤務地

大学生・短期大学生の将来希望する勤務地を出身地域別で見ると、「千葉県内」は海匠地域で90.6%、香取地域で88.2%、山武地域で86.0%と高くなっている。「東京都(23区内)」は東京都で54.9%、東葛飾地域で31.6%と高くなっている。「神奈川県(計)」は神奈川県で28.6%と高く、「埼玉県(計)」は埼玉県で30.8%と高く、「北関東(茨城県・栃木県・群馬県)」は北関東で46.5%と高くなっている。

<図表 将来希望する勤務地—大学生・短期大学生(出身地域別)>



(8) 大学生・短期大学生の就職後の居住地の希望

大学生・短期大学生の就職後の居住地の希望を出身地域別でみると、「千葉県に住みたい（とどまりたい）」は香取地域で82.4%、海匝地域で81.3%、夷隅地域で75.0%と高くなっている。「千葉県外（国内）に住みたい」は北関東で62.0%、東京都で58.8%、埼玉県で53.8%と高くなっている。

<図表 就職後の居住地の希望－大学生・短期大学生（出身地域別）>

